

DVDホームシアターサウンドシステム

DVX-S301

(DVR-S300 + NX-SW301 + NX-S301 + NX-C301)



ヤマハDVDホームシアターサウンドシステムDVX-S301
をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
でございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

ヤマハでは、製品をご購入いただきましたお客様へのサポート・サービスの充実を図るため、「お客様登録」をお願いしております。

以下のシネマステーションホームページからご登録ください。

<http://www.CinemaStation.com>

上記URLから、「日本>ユーザー登録」へお進みください。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

必ず実行



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● 異常なおいや音がかかる。 ● 異常に高温になる。
● 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(DVR-S300の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上の、NX-SW301の周囲に左右30cm、上1m、背面30cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。

手を挟まれないよう注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったらそのまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

設置



必ず2人以上で開梱や持ち運びをする。
重いので、けがの原因になります。

必ず実行



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

必ず実行

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

注意



本機はデジタル信号を扱います。ほかの電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。

注意



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。

禁止



業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

禁止

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止

目次

1. はじめに

はじめに.....	2
付属品.....	4
各部の名称とはたらき.....	5
フロントパネル (DVR-S300).....	5
リアパネル (DVR-S300).....	6
リアパネル (NX-SW301).....	7
リモコン.....	8

2. 設置と接続

スピーカーの設置.....	10
各スピーカーの役割と設置場所.....	10
センター/フロント/サラウンド	
スピーカーを設置する.....	11
サブウーファーを設置する.....	11
システム接続.....	12
スピーカーを接続する.....	12
センター/フロント/サラウンド	
スピーカーを接続する.....	13
サブウーファーを接続する.....	13
その他の接続.....	14
テレビを接続する.....	14
FM/AM アンテナを接続する.....	15
その他の AV 機器を接続する.....	16
デジタルオーディオ機器を接続する.....	17

3. 準備と設定

リモコンの準備と基本操作.....	18
リモコンに電池を入れる.....	18
リモコンを使用する.....	18
テレビを設定する.....	19
言語を設定する.....	20
スピーカーの設定を調節する.....	21

4. 再生操作

ディスク操作.....	23
再生する.....	23
よく使う機能.....	23
リピート (繰り返し).....	24
シャッフル (VR フォーマット対応	
ディスクを除く).....	24
DVD/ビデオ CD/スーパービデオ CD	
の各種機能.....	25
DVD の各種機能.....	26
MP3/DivX/JPEG/	
コダックピクチャー CD の再生.....	27
スーパーオーディオ CD の再生.....	28
ピクチャー CD の機能.....	29

5. オンスクリーンメニュー

セットアップメニュー.....	30
一般設定ページ.....	30
音声設定ページ.....	32
映像設定ページ.....	33
環境設定ページ.....	35

6. その他の機能

チューナーの操作.....	38
放送局を選局する.....	38
放送局を登録する (プリセット).....	38
登録した放送局を選局する	
(プリセット選局).....	39
サウンドの調節.....	40
サラウンド再生とステレオ再生を	
切り替える.....	40
デジタル音場効果を選択する.....	40
高音と低音レベルを調節する.....	40
音量を調節する.....	41
ナイトリスニング.....	41
アクティブモードに切り替える.....	41
その他の操作.....	42
スタンバイ状態に切り替える.....	42
リモコンコードを設定する.....	42
外部 AV 機器の操作.....	42
フロントパネルディスプレイの	
明るさ調節.....	43
スリープタイマーの設定.....	43
外部 AV 機器で録画 / 録音する.....	43

7. 付録

故障かな?と思ったら.....	44
用語解説.....	46
参考資料.....	48
主な仕様.....	48
言語コード一覧.....	49
リモコンコード一覧.....	50

1

2

3

4

5

6

7

はじめに

ヤマハシネマステーション DVX-S301 をご購入いただき、誠にありがとうございます。DVX-S301 は、DVD 一体型 5.1 チャンネルホームシアターです。本書は接続方法および基本的な操作方法について説明しています。

本機の主な特徴は以下のとおりです。

- 幅広い光ディスクフォーマットに対応したユニバーサル DVD
- Dolby Digital、DTS など幅広い再生フォーマットに対応
- 高品質な 2 way 方式のフロント、センター、サラウンドスピーカーおよび A-YST サブウーファー



Advanced YST

内蔵パワーアンプ搭載のサブウーファーです。アドバンスドヤマハアクティブサーボテクノロジーによる豊かな重低音再生が可能で、ホームシアターに高品位でリアルな音場を提供します。

本機は以下のディスクに対応しています。

- スーパーオーディオ CD、DVD-ビデオ、DVD-オーディオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD、オーディオ CD、CD-R、CD-RW (MP3、JPEG、Kodak、DivX® 対応)
- DVD+RW、DVD+R、DVD-R、DVD-RW (VR フォーマット、DivX® 対応)

ご注意

- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R ディスクは再生できません。ファイナライズとは、再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 記録方法 (PC 環境やソフトウェアなど) やディスクの状態 (傷やそりがあるなど) によっては再生できない場合があります。
- 信用できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。

- DVD ビデオ、ビデオ CD の中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。


ディスクのお取り扱いについて

- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ拭いてください。その際、レコードクリーナーやシンナーなどを使わないでください。
- 本機、乾電池、あるいはディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。レンズにほこりがたまるのを防ぐため、本機を保管する際はディスクトレイを閉めてください。
- ディスクを持つときは、ディスクの縁や真中の穴を持つようにして、表面に触れないでください。

DVD ビデオのリージョンコードについて

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクにはリージョンコード (発売地域ごとに割り当てられた識別番号) が決められています。DVD レシーバーでは下表のディスクが再生できます。

詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向け	DVD レシーバーのリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 または複数のリージョンコードに 2 が入っているディスク

著作権



ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。「ドルビー」及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS および DTS Digital Out はデジタルシアターシステムズの登録商標です。



DivX、DivX Certified およびそのロゴは DivX Networks Inc の商標であり、ライセンス承諾を得て使用されます。



AAC ロゴマーク  はドルビーラボラトリーズの商標です。以下はパテントナンバーです。

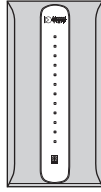
08/937,950	5,633,981	5,227,788	5,299,239
5848391	5,297,236	5,285,498	5,299,240
5,291,557	4,914,701	5,481,614	5,197,087
5,451,954	5,235,671	5,592,584	5,490,170
5,400,433	07/640,550	5,781,888	5,264,846
5,222,189	5,579,430	08/039,478	5,268,685
5,357,594	08/678,666	08/211,547	5,375,189
5,752,225	98/03037	5,703,999	5,581,654
5,394,473	97/02875	08/857,046	05-183,988
5,583,962	97/02874	08/894,844	5,548,574
5,274,740	98/03036	5,299,238	08/506,729

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の視聴用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

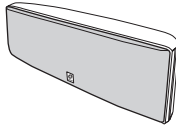
DVD レシーバー
(DVR-S300)



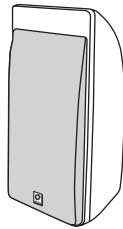
サブウーファー
(NX-SW301)



センタースピーカー
(NX-C301)



フロント/サラウンド
スピーカー
(NX-S301 × 4)



■ 付属品

リモコン



単 3 電池 (2 本)



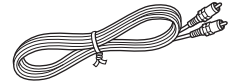
FM 簡易アンテナ



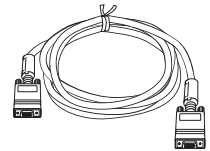
AM ループアンテナ



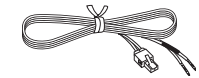
ビデオ用ピンケーブル



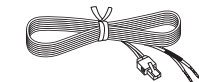
システム接続ケーブル
(4 m × 1 本)



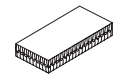
スピーカーケーブル
(フロント/センター用 :
5m × 3 本)



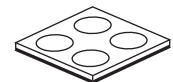
スピーカーケーブル
(サラウンド用 : 15m
× 2 本)



固定テープ (センタース
ピーカー用 : 2 セット)

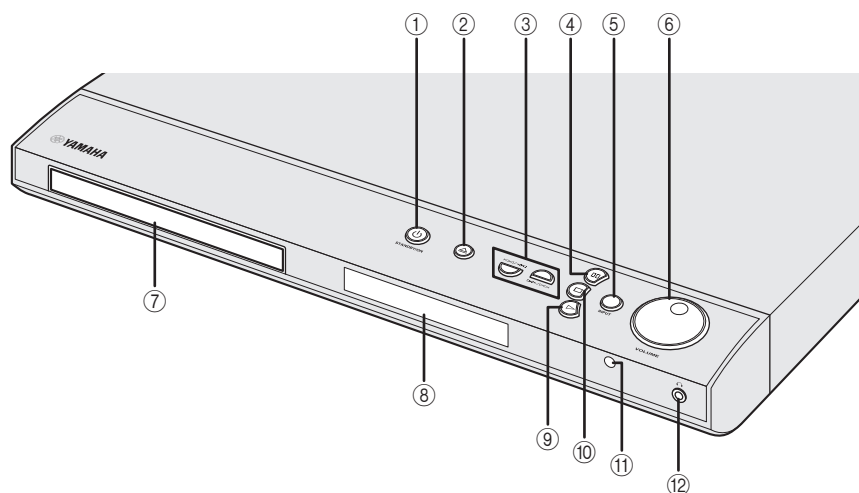


滑止パッド (サブウー
ファー用 : 1 セット)



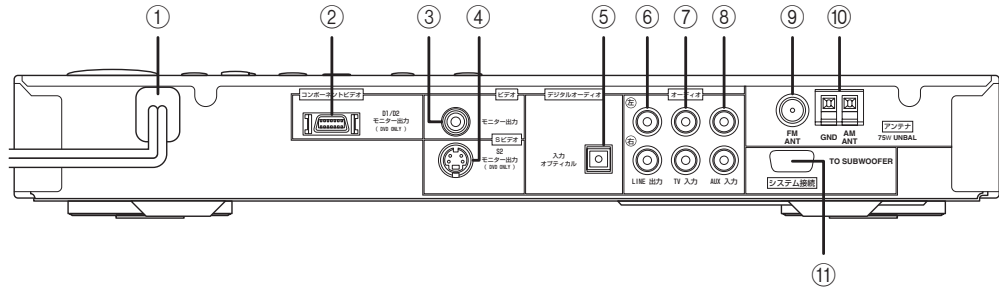
各部の名称とはたらき

■ フロントパネル (DVR-S300)



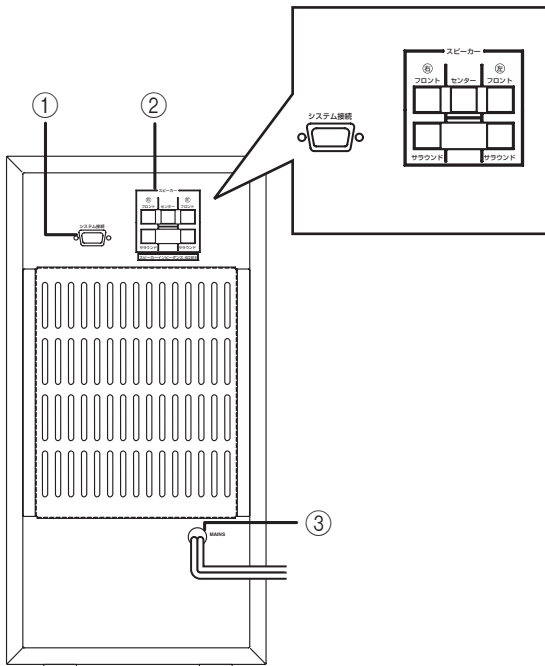
- ① **STANDBY/ON キー**
電源モード (スタンバイ / オン) を切り替えます。スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。
- ② **⏏ キー**
ディスクトレイを開閉します。
- ③ **⏮ / ⏪ / ⏩ / ⏭ キー**
DVD/CD モード：前 / 次のトラックまたはチャプターにスキップします。長押しすると早戻し / 早送りすることができます。
チューナーモード：登録した放送局を選択します。
- ④ **⏸ キー**
DVD/CD モード：ディスク再生を一時停止します。
- ⑤ **INPUT キー**
入力する音声を選択または入力する音声信号の優先順位を設定します。
- ⑥ **VOLUME**
音量を調節します。
- ⑦ **ディスクトレイ**
ディスクをセットします。
- ⑧ **ディスプレイ**
再生の状態や設定を表示します。
「MULTI」
マルチチャンネルのソースを再生すると点灯します。
「DOWNMIX」
再生しているマルチチャンネルのソースが2チャンネルへのダウンミックス可能なときに点灯します。マルチチャンネルソースを再生していても、ダウンミックスが禁止されているディスクでは点灯しません。
- ⑨ **▷ キー**
DVD/CD モード：ディスクを再生または一時停止します。
チューナーモード：オートプリセットを開始させ、放送局を登録します。
- ⑩ **□ キー**
DVD/CD モード：ディスク再生を停止します。
チューナーモード：オートプリセットを解除します。
- ⑪ **リモコン受光窓**
リモコンの信号を受信します。
- ⑫ **ヘッドホン端子**
ヘッドホンを接続します。

■ リアパネル (DVR-S300)



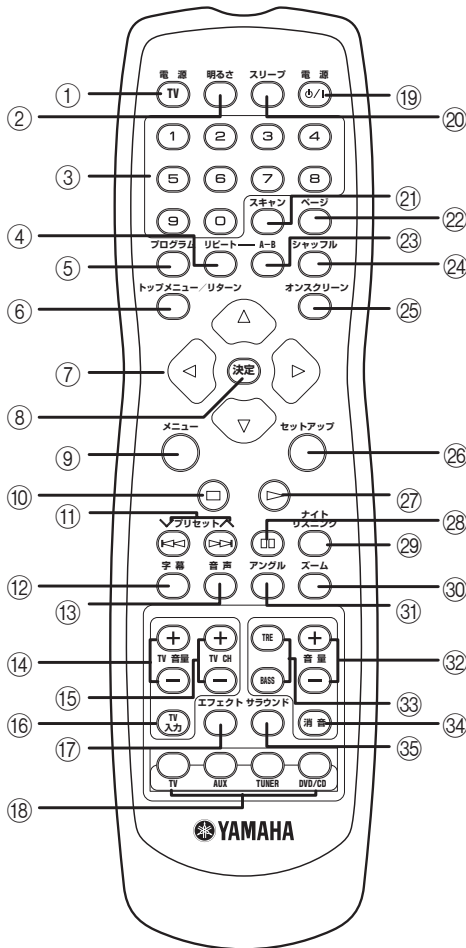
- ① **電源コード**
電源コンセントに接続します。
- ② **D1/D2 モニター出力端子 (コンポーネント)**
AV 機器の D1/D2 ビデオ入力端子に接続します。
- ③ **モニター出力端子 (ビデオ)**
AV 機器のビデオ入力端子に接続します。
- ④ **S2 モニター出力端子 (S ビデオ)**
AV 機器の S ビデオ入力端子に接続します。
- ⑤ **オプティカル入力端子 (デジタルオーディオ)**
AV 機器の光デジタル出力端子に接続します。
- ⑥ **LINE 出力端子 (オーディオ)**
ビデオデッキのオーディオ入力端子に接続します。
- ⑦ **TV 入力端子 (オーディオ)**
テレビの音声出力端子に接続します。
- ⑧ **AUX 入力端子 (オーディオ)**
カセットデッキやビデオデッキのオーディオ出力端子に接続します。
- ⑨ **FM ANT 端子**
FM 簡易アンテナを接続します。
- ⑩ **AM ANT/GND 端子**
AM ループアンテナを接続します。
- ⑪ **システム接続端子**
サブウーファアのシステム接続端子へ接続します。

■ リアパネル (NX-SW301)



- ① **システム接続端子**
DVD レシーバーのシステム接続端子へ接続します。
- ② **スピーカー端子**
スピーカーに接続します。
- ③ **電源コード**
電源コンセントに接続します。

■ リモコン



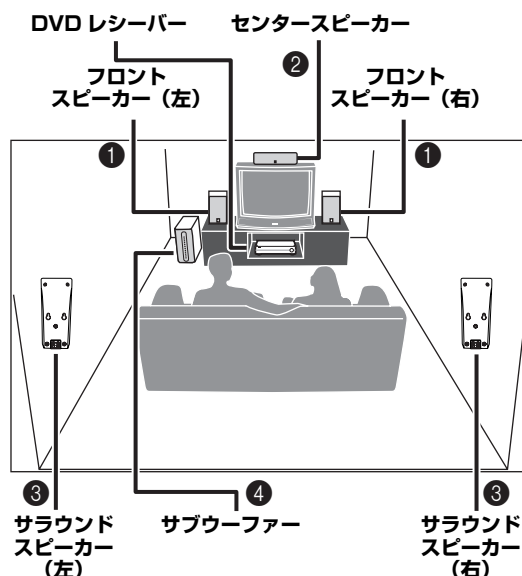
- ① **電源キー (TV)**
テレビの電源の入 / 待機 (スタンバイ) を切り替えます。
- ② **明るさキー (DIMMER)**
フロントパネルディスプレイの明るさを調節します。
- ③ **数字キー (0-9)**
トラック番号やチャプター番号を入力する際に使用します。
登録した放送局を選択します。
- ④ **リピートキー**
リピート再生を設定します。
- ⑤ **プログラムキー**
DVD/CD モード：プログラム再生を設定します。
チューナーモード：自動 / 手動プリセットを設定する際に使用します。
- ⑥ **トップメニュー / リターンキー**
前のメニュー画面に戻ります。
ディスクの最初のメニュー画面を表示します。
- ⑦ **◀ / ▶ / ▲ / ▼ キー**
メニュー画面などで項目を選択、変更します。
チューナーモード：◀ / ▶ キーでラジオ周波数の調節をします。
▲ / ▼ キーで登録した放送局を選択します。
- ⑧ **決定キー**
選択を決定します。
- ⑨ **メニューキー**
メニュー画面の表示をオン / オフにします。
(ビデオ CD バージョン 2.0 対応) プレイバックコントロール (PGC) の表示をオン / オフにします。
- ⑩ **□ キー**
DVD/CD モード：再生を停止します。長押しするとディスクトレイを開きます。
チューナーモード：長押しすると、プリセットを解除します。
- ⑪ **√プリセット (◀◀ / ▶▶) キー**
DVD/CD モード：前 / 次のトラックまたはチャプターにスキップします。長押しすると早戻し / 早送りすることができます。
チューナーモード：登録した放送局を選択します。
- ⑫ **字幕キー**
字幕言語を切り替えます。

- ⑬ **音声キー**
音声言語（DVD）、再生ストリーム（DVD オーディオ）、音声チャンネル（ビデオ CD）または ACC（アドバンストオーディオコーディング）主音声 / 副音声を切り替えます。
- ⑭ **TV 音量（+ / -）キー**
テレビの音量を調節します。
- ⑮ **TV CH（+ / -）キー**
テレビのチャンネルを切り替えます。
- ⑯ **TV 入力キー**
テレビの入力を切り替えます。
- ⑰ **エフェクトキー**
音場効果を選択します。
- ⑱ **入力選択キー**
入力を切り替える際に使用します。
TV：テレビ入力に切り替えます。
AUX：アナログ音声入力とデジタル音声入力を切り替えます。
TUNER：FM/AM 入力を切り替えます。
DVD/CD：DVD/CD モードに切り替えます。
- ⑲ **電源（ ON/OFF ）キー**
DVD レシーバーの電源モード（スタンバイ / オン）を切り替えます。
- ⑳ **スリープキー**
スリープタイマーを設定します。
- ㉑ **スキャンキー**
各トラックやチャプターのスキャン再生を実行します。
- ㉒ **ページキー**
DVD オーディオの静止画面（ページ）を切り替えます。
- ㉓ **A-B キー**
指定した部分のみを繰り返し再生します（A-B リピート）。
- ㉔ **シャッフルキー**
トラックを順不同で再生します。
- ㉕ **オンスクリーンキー**
DVD レシーバーのオンスクリーン情報の表示をオン / オフにします。
- ㉖ **セットアップキー**
セットアップメニューの表示をオン / オフにします。
- ㉗ **▷ キー**
DVD/CD モード：ディスクを再生します。
- ㉘ **⏸ キー**
DVD/CD モード：ディスク再生を一時停止します。
- ㉙ **ナイトリスニングキー**
ナイトリスニングモードを設定します。
- ㉚ **ズームキー**
映像を拡大します。
- ㉛ **アングルキー**
ディスクアングル（表示角度）を切り替えます。
- ㉜ **音量（+ / -）キー**
音量を調節します。
- ㉝ **TRE/BASS キー**
TREBLE（高音域）と BASS（低音域）の出力レベルを切り替えます。
- ㉞ **消音キー**
消音します。消音を解除するには、再度消音キーを押します。
- ㉟ **サラウンドキー**
マルチチャンネルサラウンドモードとステレオモードに切り替えます。

スピーカーの設置

■ 各スピーカーの役割と設置場所

臨場感あるサラウンドを十分にお楽しみいただくためには、スピーカーを安定した場所に適切に設置する必要があります。以下はおすすめる設置例です。



それぞれのスピーカー（サブウーファー以外）は、視聴位置からほぼ同じ距離に設置すると最も効果的な音響効果が得られるように設計されています。

① フロントスピーカー（右、左）

テレビを中心に左右同じ距離で設置します。主にフロントチャンネル（ステレオ）の音と効果音を出力します。

② センタースピーカー

テレビの上などに設置します。主に会話やボーカルなど画面中央に定位する音を出力します。

③ サラウンドスピーカー（右、左）

サラウンドスピーカーは、視聴位置の斜め後方に設置します。サラウンドスピーカーは、壁に掛けたり、ラックの上に置いたりして視聴するときの耳の高さに設置するのが理想的です。主にサラウンド音と効果音を出力します。

④ サブウーファー

サブウーファーは、前方の左右どちらかに設置します。壁の反射を防ぐため、少し内側に向けて設置してください。主に低音を強調して出力します。

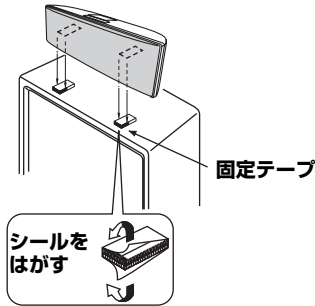
ご注意

- ー 本システムは防磁設計となっていますが、テレビやモニターの映像が乱れる場合は、フロントスピーカーをテレビやモニターから離して設置してください。
- ー DVDレシーバーとサブウーファーを設置する際には、放熱のために適度なスペースを確保してください。
- ー 低音の聴こえかたは、サブウーファーを置く位置や聴く位置によって異なりますので、設置場所を変えてお楽しみください。

■ センター/フロント/サラウンドスピーカーを設置する

センタースピーカーをテレビの上に設置する場合は、必ず付属の固定テープをご使用ください。

(NX-C301)



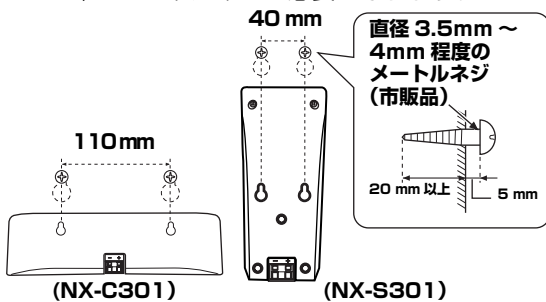
- ① 固定テープのシールをはがして、センタースピーカーの底面に貼り付けます。
- ② もう一方の面のシールをはがして、テレビの上面に貼り付けます。

ご注意

- 上面が傾いたテレビの上や、スピーカー底面よりも面積が狭いテレビの上には設置しないでください。スピーカーが落下するとけがの原因になります。もしテレビの上面が水平でない場合は、テレビラック内やテレビ真下の床上など、必ず上面が水平な場所に設置してください。
- 固定テープを貼る前に、テレビの上面を乾いた布できれいに拭いてください。表面が汚れていたり、濡れていたりすると、テープの接着力が弱まり、スピーカー落下の原因になります。
- 固定テープをはがした後は、接着面にはさわらないでください。テープの粘着力が弱まり、スピーカー落下の原因になります。

取付けネジを使用して設置する

市販のメートルネジ（直径 3.5mm ~ 4mm、長さ 25mm 以上）を使用して、フロント/センター/サラウンドスピーカーを壁に取り付けることができます。スピーカー 1 台につき必要なメートルネジは 2 本です。フロント/センター/サラウンドスピーカーを壁に取り付けるには、10 本のメートルネジが必要になります。



- ① スピーカーを掛ける場所に、図のように 2 本のメートルネジを取り付けます。
- ② スピーカー背面の穴をメートルネジの頭に合わせ、穴の狭い部分にメートルネジが引っ掛かるようにスピーカーを取り付けます。

ご注意

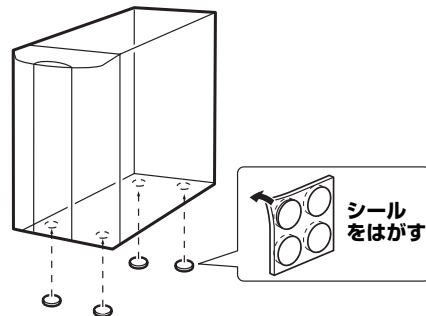
- メートルネジを壁や柱に取り付ける際には、強固な材質でできている場所をお選びください。モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁に取り付けると、ネジが抜けてスピーカーが落下する原因になります。
- スピーカーを接続する際は、スピーカーケーブルを必ず固定してください。誤って手足に引っ掛かると、スピーカーが落下する原因になります。
- スピーカーを設置後、各スピーカーが確実に固定されていることをご確認ください。取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

壁掛け金具を使用して設置する場合

市販のスピーカーブラケットで、フロント/サラウンドスピーカーを壁に取り付ける場合は、ブラケットに付属する取付ネジを使用してください。スピーカー背面の取付ネジは、直径 6 mm のメートルネジです。取り付け作業を行う際には、スピーカーブラケットに付属の取扱説明書や取付注意書を本書とあわせてご参照ください。

■ サブウーファーを設置する

図のように付属の滑止パッドをサブウーファー底面の 4 隅に貼り付け、固く水平な床の上などに設置します。



メモ

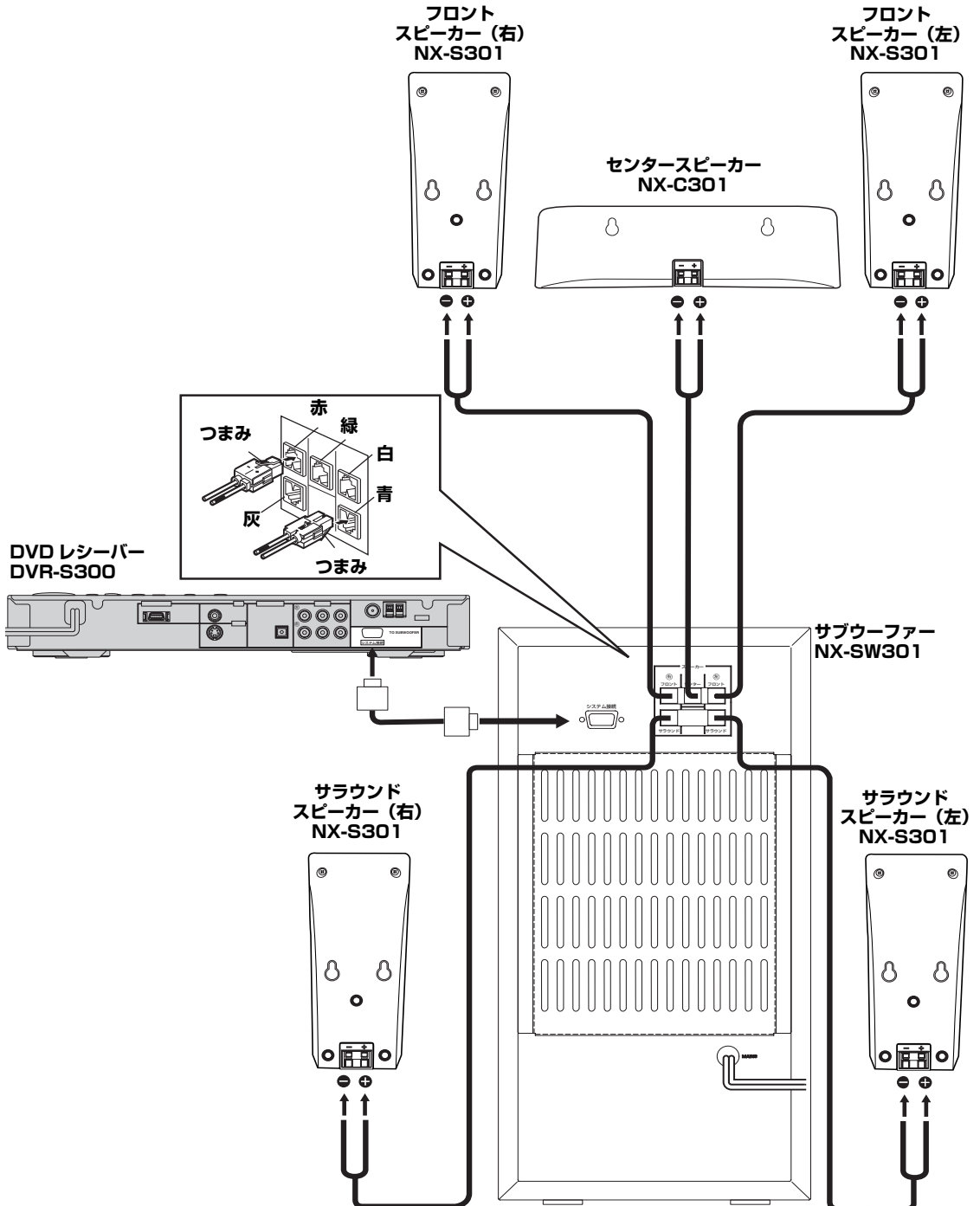
滑止パッドは、サブウーファーの振動による位置ずれを防ぎます。また、安定性が増すことにより、音質劣化を防ぐ効果もあります。

システム接続

■ スピーカーを接続する

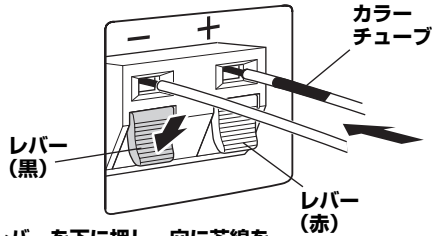
ご注意

- DVD レシーバーとサブウーファーの電源コードは、すべてのケーブル接続が完了してから接続してください。
- 各 AV 機器への接続は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。必ず AC100V の電源電圧でご使用ください。



■ センター/フロント/サラウンドスピーカーを接続する

カラーチューブがついている芯線をスピーカーのプラス（赤）端子に接続し、もう一方の芯線をスピーカーのマイナス（黒）端子に接続します。

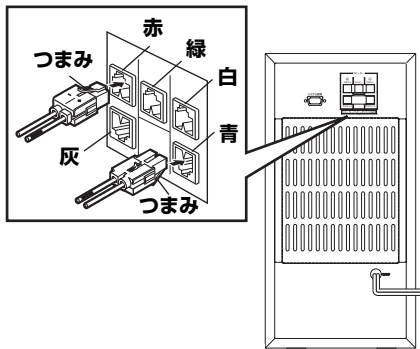


レバーを下に押し、穴に芯線を差し込み、レバーを離します。

■ サブウーファーを接続する

各スピーカーケーブルのケーブルプラグを同じ色のスピーカー端子に接続します。

- － フロント右（赤）、センター（緑）、フロント左（白）：ケーブルプラグのつまみを上向きにして、スピーカー端子にカチッと音がするまで差し込みます。
- － サラウンド右（灰）、サラウンド左（青）：ケーブルプラグのつまみを下向きにして、スピーカー端子に差し込みます。

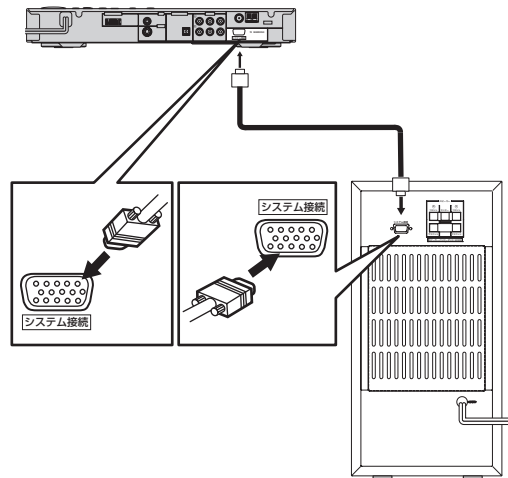


ご注意

ケーブルプラグを無理にスピーカー端子に差し込まないでください。ケーブルプラグやスピーカー端子を破損する原因となります。

DVD レシーバーとサブウーファーを接続する

システム接続ケーブルでシステム接続端子間を接続します。



ご注意

- － システム接続ケーブルを接続する際は、スクリーンネジをしっかりとめてください。
- － スピーカーケーブルは、プラス（+）とマイナス（-）がショート（接触）しないように接続してください。DVD レシーバーやスピーカーが破損する原因となります。
- － スピーカーを接続する際は、スピーカーケーブルを必ず固定してください。誤って手や足に引っ掛かると、スピーカーが落下する原因となります。
- － サブウーファーを DVD レシーバー、AC アダプター、テレビ、電波を発する機器などに近づけすぎないでください。雑音が発生することがあります。

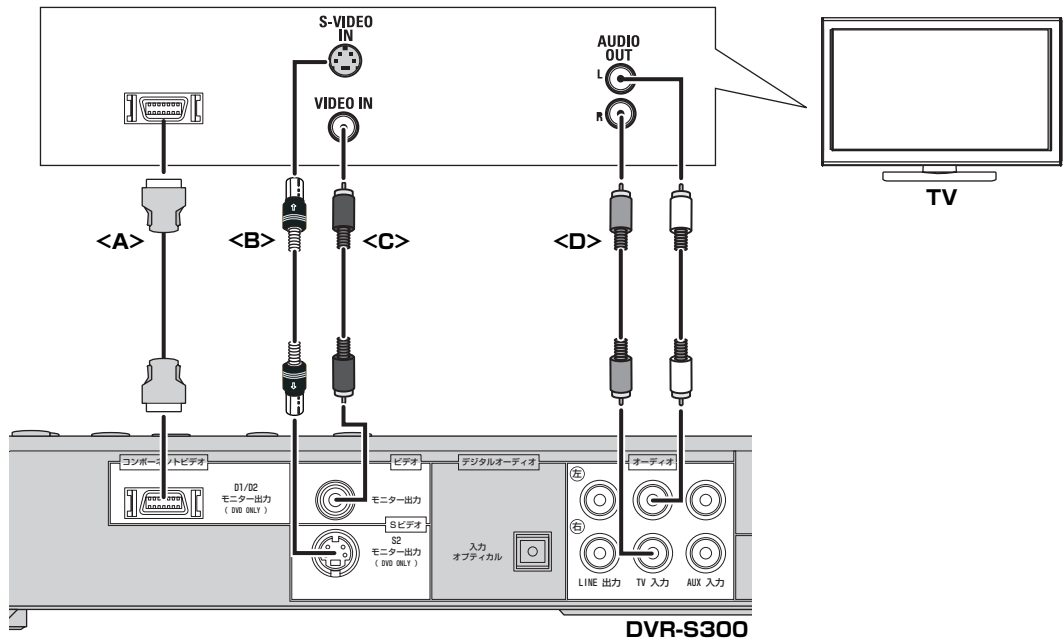
その他の接続

■ テレビを接続する

お使いのテレビにあわせて下記 (A)、(B)、(C) の中からいずれかを選択して映像信号の接続を行ってください。

ご注意

すべてのケーブル接続をしてから、DVD レシーバーおよびテレビの電源コードを接続してください。



D1/D2 モニター出力端子 (コンポーネントビデオ) <A>

輝度信号と 2 種類の色差信号を分けて伝送し、S ビデオよりさらに美しい映像を再生します。市販のケーブルを使って、D1/D2 モニター入力端子または COMPONENT (コンポーネント) 入力端子 (PR/CR, PB/CB, Y) に接続してください。

ご注意

- D1/D2 モニター出力端子は、プログレッシブ信号を出力できます。プログレッシブ対応のテレビを使用してさらに高画質な映像をお楽しみいただく場合は、DVD レシーバーの D1/D2 モニター出力端子をテレビのコンポーネントビデオ入力端子に接続します。
- テレビ側もプログレッシブ対応しているかご確認ください。

S 2 モニター出力端子 (S ビデオ)

輝度信号と色差信号を分けて伝送し、一般的な映像信号 (コンポジット) より美しい映像を再生します。市販の S ビデオケーブルを使用して DVD レシーバーのモニター出力端子 (ビデオ) とテレビの S ビデオ入力端子を接続します。

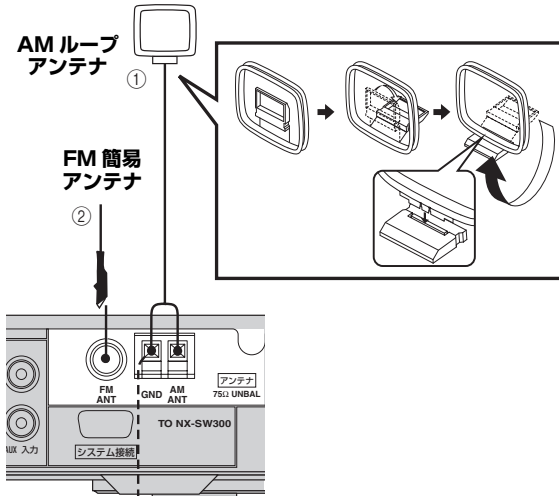
モニター出力端子 (ビデオ) <C>

付属のビデオ用ピンケーブルを使用して DVD レシーバーのモニター出力端子 (ビデオ) とテレビの映像入力端子を接続します。

TV 入力端子 (オーディオ) <D>

テレビの音声を DVD レシーバーで再生する場合は、市販のオーディオケーブルを使用して DVD レシーバーの TV 入力端子 (オーディオ) とテレビの音声出力端子を接続します。

■ FM/AM アンテナを接続する



アース (GND 端子)

GND 端子は安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減することができます。アースは市販のアース棒か銅版に被覆線を接続し、湿気の多い地中に埋めてください。

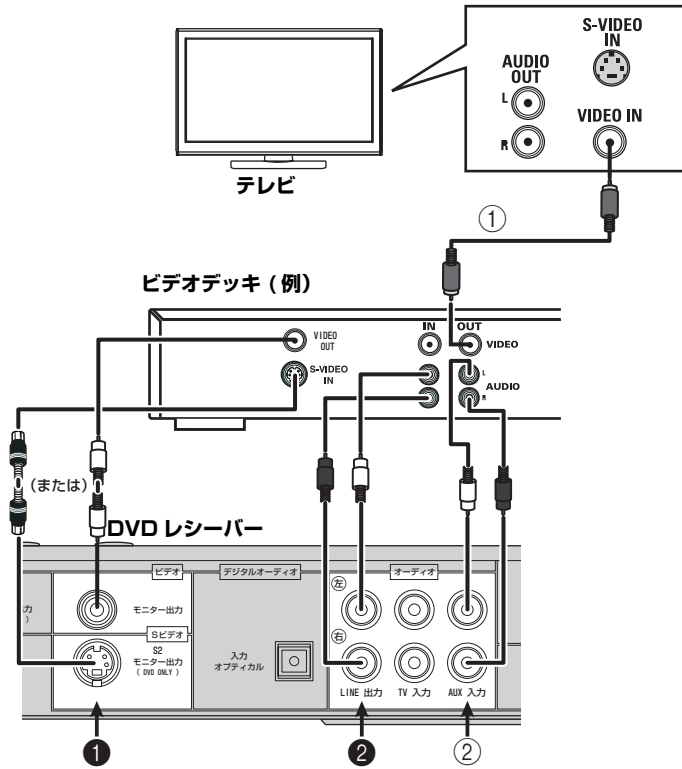
- ① 付属のAMループアンテナをDVDレシーバーのAM ANT 端子に接続します。アンテナをアンテナスタンドや壁などに設置します。アンテナを壁に設置する場合は、アンテナスタンドは必要ありません。
- ② 付属のFM簡易アンテナをDVDレシーバーのFM ANT 端子に接続します。別売りの屋外アンテナを使用することによって、受信状態を良くすることができます。

ご注意

- 放送局を受信している際に、アンテナを左右に回して受信状態が良いアンテナの角度を探してください。
- 雑音を軽減するため、アンテナをDVDレシーバー、ビデオデッキ、電波を発する機器からできるだけ離れた場所に配置してください。

■ その他の AV 機器を接続する

ビデオデッキ、カセットデッキなどの外部 AV 機器を DVD レシーバーのオーディオ / ビデオ端子に接続すると、外部 AV 機器の音声や映像をお楽しみいただけます。また録音機器を接続すると、DVD レシーバーで再生している音声を録音することも可能です。ここでは DVD レシーバーと外部機器の接続方法例を説明します。なお、AV 機器の機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。



再生する

- ① ビデオデッキを上図のようにテレビに接続します。
- ② DVD レシーバーの AUX 入力端子とビデオデッキの音声出力端子を接続します。再生を開始する前に、AUX キーを押して「AUX ANALOG」を選択します。

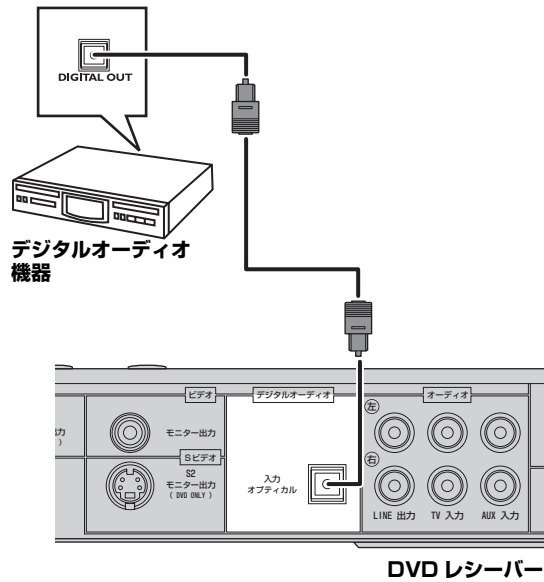
ビデオデッキを使って録画する

- ① DVD レシーバーのビデオ出力端子とビデオデッキのビデオ入力端子を接続します。または、S2 モニター出力端子 (S ビデオ) とビデオデッキの S ビデオ入力端子を接続します。
- ② DVD レシーバーの LINE 出力端子 (オーディオ) とビデオデッキの音声入力端子を接続します。これによりアナログステレオ録音 (2 チャンネル) が可能になります。

ご注意

コピープロテクトがかかっている DVD は録画できません。

■ デジタルオーディオ機器を接続する



デジタルオーディオ機器を再生する

DVD レシーバーのオプティカル入力端子（デジタルオーディオ）とデジタルオーディオ機器のデジタル出力端子を接続します。

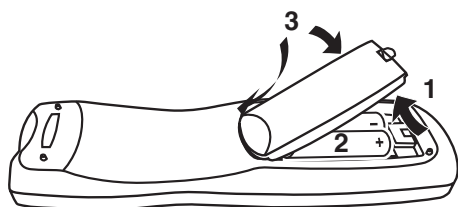
再生を開始する前に、AUX キーを押して「AUX DIGITAL」を選択してください。

ご注意

- デジタル接続の場合、ソース機器の設定によっては、SA-CD や MP3-CD などの音声が出力されないことがあります。
- デジタル端子を使って外部入力信号を再生する場合、デジタルオーディオ機器のデジタル出力端子を PCM フォーマットに設定してください。
- デジタルオーディオ機器の接続や使用方法については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

リモコンの準備と基本操作

■ リモコンに電池を入れる



- ① バッテリーカバーを取り外します。
- ② 付属の単3乾電池（2本）を、電池ケースに挿入します。電池の向き（+/-極性）を正しく挿入してください。
- ③ バッテリーカバーをリモコンに装着します。

電池を交換する

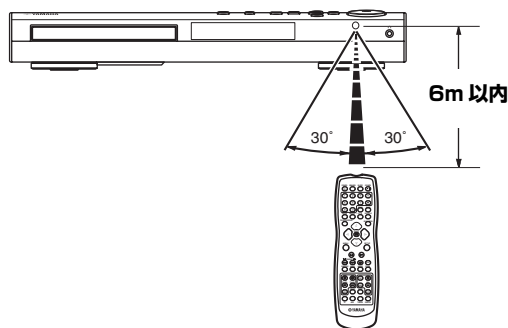
リモコンの電池が消耗すると、リモコンでDVDレシーバーを操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。

ご注意

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも、性質の異なる場合がありますのでご注意ください。
- 使い切った電池は、ただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの原因となります。
- 使い切った電池は、地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。
- 電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に漏れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
- リモコンから電池を取り出したら、2分以内に新しい電池を挿入してください。これ以上の時間が経過すると、リモコンのメモリー内容が消去されます。

■ リモコンを使用する

リモコンでDVDレシーバーを操作する際は、リモコン赤外線送信部を本体のリモコン受光窓に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から6m以内です。



- ① 目的に応じてリモコンのTVキー、DVD/CDキーなどの入力選択キーを押します。選択した操作モードがディスプレイに表示されません。
- ② ▷ や◀◀ / ▶▶ キーなどで入力を切り替えて、お好みの機能を選択します。

外部AV機器のリモコンコードを登録しておくと、DVDレシーバーのリモコンで外部AV機器を操作することができます。詳しくは「リモコンコードを設定する」（42ページ）をご参照ください。

ご注意

- リモコンに水や飲み物をこぼさないようご注意ください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
- リモコンを以下のような場所に放置しないでください。

気温・湿度が高い場所（ヒーターの近くや風呂場など）
極端に気温が低い場所
ほこりっぽい場所

■ テレビを設定する

ご注意

すべてのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。詳しくは「テレビを接続する」(14ページ)をご参照ください。

- ① DVD/CD キーを押します。

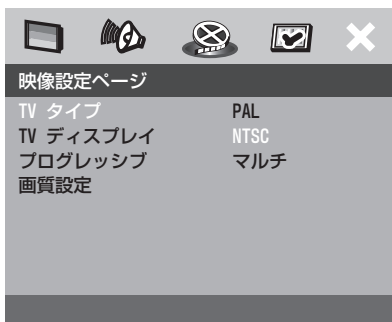
→ ディスプレイに「DVD/CD」と表示されます。

- ② DVD レシーバーのモニター出力端子（ビデオ）とテレビの映像入力端子を接続し、テレビの電源を入れます。テレビの映像入力切替を操作して DVD レシーバーの映像に切り替えます。

テレビの映像出力タイプを設定する

DVD レシーバーから出力する映像方式を「PAL」、「NTSC」、「マルチ」から選択できます。日本国内では通常、初期設定の「NTSC」を変更する必要はありません。

- ① DVD/CD モードに設定します。セットアップキーを押してテレビ画面にセットアップメニューを表示させます。
- ② ▷ キーを押して「映像設定ページ」を選択し、メニューページに入ります。
- ③ △ / ▽ キーを押して「TV タイプ」を選択し、▷ キーで決定します。



- ④ △ / ▽ キーを押してテレビの映像方式に応じて「PAL」、「NTSC」、「マルチ」のいずれかを選択します。

「PAL」－ PAL 方式のテレビをご使用の場合に選択します。海外で使用されている映像信号方式のひとつです。NTSC で収録されたディスクは PAL に変換されて出力されます。

「NTSC」－ NTSC 方式のテレビをご使用の場合に選択します。日本国内の映像信号方式は NTSC です。PAL 方式で収録されたディスクは NTSC に変換されて出力されます。

「マルチ」－ マルチシステムテレビ（PAL/NTSC 両システムに対応）をご使用の場合に選択します。ディスクに収録されたおりの信号を出力します。

- ⑤ 決定キーを押します。

テレビ設定を変更する前に、ご使用のテレビがそのシステムに対応しているかご確認ください。

ご使用のテレビと選択されたフォーマットに互換性がない場合は画像が乱れますが、15 秒程度で自動的に回復します。

リモコンを使って映像出力タイプを設定する場合

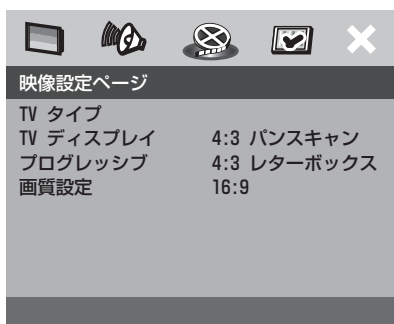
- ① トレイを開きます。
- ② ▷ キーを押して、続いてオーディオキーを押します。

→ 初期設定の NTSC から PAL へ切り替わります。

テレビ画面を設定する

DVD レシーバーに接続しているテレビのサイズに合わせて、設定を変更します。再生するディスクが、選択したフォーマットに対応していない場合、TV ディスプレイの設定は反映されません。

- ① DVD/CD モードに設定してから、セットアップキーを押します。
- ② ▷ キーを押して「映像設定ページ」を選択します。
- ③ △ / ▽ キーを押して「TV ディスプレイ」を選択し、▷ キーで決定します。



- ④ △ / ▽ キーを押して「4:3 パンスキャン」、「4:3 レターボックス」、「16:9」のいずれかを選択します。

「4:3 パンスキャン」 – ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると、縦は画面いっぱい、横は左右がカットされた状態で見えます。

「4:3 レターボックス」 – ワイドではないテレビをご使用の場合に選択してください。ワイドの映像を再生すると、画面の上下に帯が入った状態で見えます。

「16:9」 – ワイドテレビをご使用の場合に選択してください。

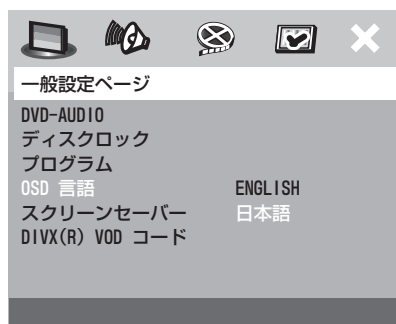
- ⑤ 決定キーを押します。

言語を設定する

お好みの言語を設定します。ディスクを再生する際、ここで選択した言語が自動的に適用されます。再生するディスクに、選択した言語が収録されていない場合、ディスクの初期設定の言語が代わりに適用されます。ただし、OSD 言語（オンスクリーンメニュー）には、選択した言語が適用されます。

オンスクリーンメニュー（OSD）を使用する

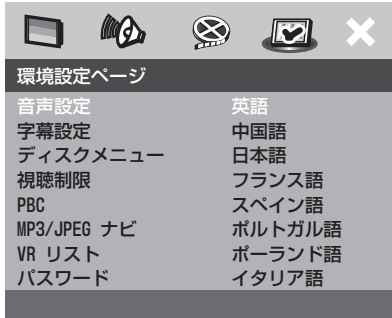
- ① DVD/CD モードに設定してから、セットアップキーを押します。
- ② ▷ キーを押して「一般設定ページ」を選択します。
- ③ △ / ▽ キーを押して「OSD 言語」を選択し、▷ キーを押します。



- ④ △ / ▽ キーで、お好みの言語を選択し、決定キーを押します。

音声、字幕、ディスクメニュー言語を設定する

- ① リモコンの□キーを2回押して再生を停止してから、セットアップキーを押します。
- ② ▷ キーを押して「環境設定ページ」を選択し、メニューページに入ります。
- ③ △ / ▽ キーを押して「音声設定」、「字幕設定」、「ディスクメニュー」のいずれかを選択します。



- ④ 決定キーを押します。

メニュー内の言語以外を選択したい場合、「その他」を選んでから数字キーで4桁の言語コードを入力し、決定キーを押します。言語コードについては「言語コード一覧」(49ページ)をご参照ください。

- ⑤ 手順③～④を繰り返し実行して、他の項目を設定します。

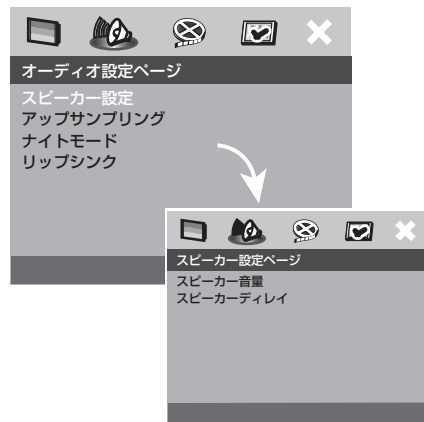
■ スピーカーの設定を調節する

各スピーカーの音量レベル、スピーカー視聴位置の距離（センターおよびサラウンドスピーカーのみ）を調節することができます。これらの設定を調節することで、最適な視聴空間をつくりだすことができます。

ご注意

スピーカーの設定を調節する前に、リモコンのサラウンドキーを押してマルチチャンネルサラウンドモードに設定しておきます。

- ① リモコンの□キーを押して再生を停止してから、セットアップキーを押します。
- ② ▷ キーを押して「オーディオ設定ページ」を選択し、メニューページに入ります。
- ③ △ / ▽ キーで「スピーカー設定ページ」を選択し、▷ キーを押します。

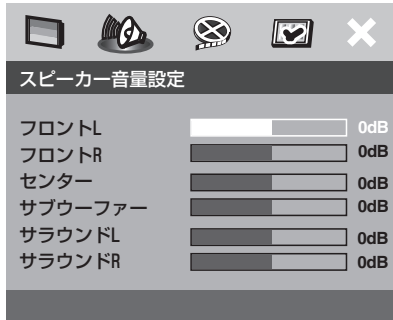


- ④ △ / ▽ キーを押して言語を選択し、決定キーを押します。
- ⑤ △ / ▽ キーを押して「スピーカー音量」または「スピーカーディレイ設定」を選択します。▷ キーを押します。

[スピーカー音量] - 各スピーカーの音量
(- 6dB ~ + 6dB) を設定します。

ご注意

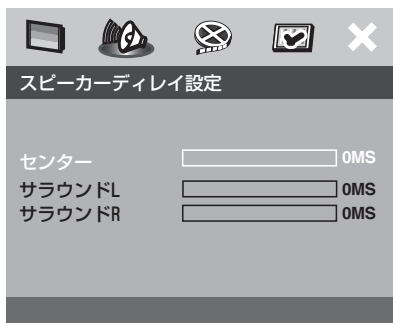
自動的にテストトーンが出ます。それを参考に、各スピーカーの設定を調節してください。



[スピーカーディレイ] - 視聴位置からセンターおよびサラウンドスピーカーまでの距離 (OMS ~ 15MS) を調節することで、ディレイタイムを設定します。

ご注意

サラウンドスピーカーがフロントスピーカーよりも視聴位置から近い場合、ディレイタイムを長めに設定してください。





- ⑥ ◀ / ▶ キーを押して、最適な距離を設定します。
- ⑦ 決定キーを押します。

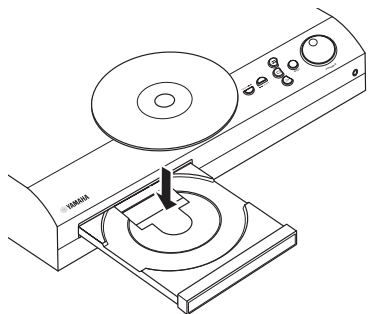
ディスク操作

ご注意

- ディスクを再生中にキーを押した際、テレビ画面に禁止マーク（⊙または×）が表示された場合、その機能は利用できません。
- ディスクによって、操作方法や操作内容が異なる場合があります。
- ディスクトレイを押したり、トレイにディスク以外のものを乗せたりすると故障する原因となります。

■ 再生する

- ① リモコンのDVD/CD キーを押します。ディスプレイに「DVD/CD」と表示されます。
- ② テレビの映像入力切替を操作してDVDレシーバーの映像に切り替えます。詳しくは「テレビを接続する」(14 ページ)をご参照ください。
- ③  キーを押してディスクトレイを開きます。印刷面を上にしてディスクをセットし、 キーを押してディスクトレイを閉めます。



- ④ 自動的に再生が始まります。

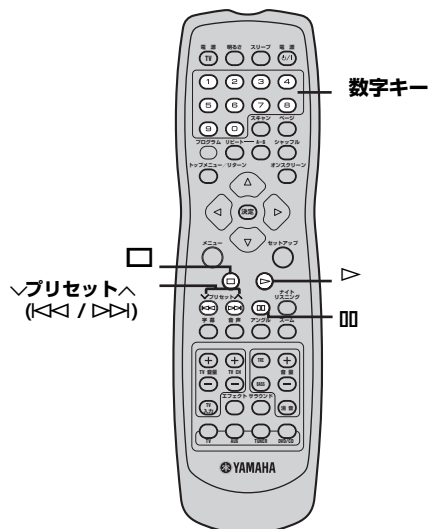
テレビ画面にディスクメニューが表示された場合は、「ディスクメニューの操作」(25 ページ)をご参照ください。

視聴制限機能により再生を制限されている場合は、6桁のパスワードを入力する必要があります。詳しくは「視聴制限の設定」(30 ページ)をご参照ください。

オートスタンバイ機能

この機能は、ディスク再生終了後、何も操作しない状態が30分以上続くと、自動的に電源が切れ、DVDレシーバーをスタンバイ状態に切り替える機能です。

■ よく使う機能





再生の一時停止

ディスクを再生中、 キーを押します。



→ 再生が一時停止され、音が消えます。▷ キーを押すと、通常の再生に戻ります。

スキップ (頭出し)


 キーを押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭にスキップします。


 キーを押すと、次のチャプター/トラックの先頭にスキップします。

数字キーでチャプター/トラックの番号を入力すると、そのチャプター/トラックにスキップします。

リピート (繰り返し) 機能が作動中の場合、 キー /  キーを押すと同じチャプター/トラックが繰り返し再生されます。

早送り / 早戻し


 キーを押し続けると、早送りになります。

 キーを押し続けると、早戻しになります。

キーを繰り返し押し続けると、早送り/早戻しのスピードが変わります。

▷ キーを押すと、通常の再生に戻ります。

再生の停止

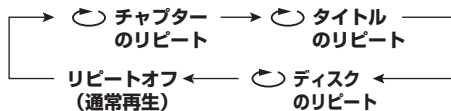
再生中に  キーを押して、再生を停止します。

■ リピート（繰り返し）

リピート（繰り返し）再生

チャプター / タイトル / ディスクのリピート再生 (DVD ビデオ)

リピートキーを押すたびに、テレビ画面の表示が次のように変わります。



🔄 **チャプター***：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

🔄 **タイトル***：再生中のタイトルを繰り返し再生します。

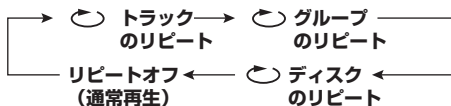
🔄 **ディスク***：ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

*DVD ビデオによってはリピート / シャッフル再生が正しく機能しない場合があります。

トラック / グループ / ディスクのリピート再生 (DVD オーディオ)

リピートキーを押すたびに、テレビ画面の表示が次のように変わります。



🔄 **トラック**：再生中のトラックを繰り返し再生します。

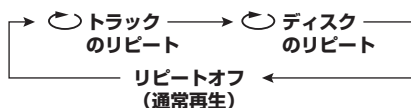
🔄 **グループ**：再生中のグループを繰り返し再生します。

🔄 **ディスク**：ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

トラック / ディスクのリピート再生（上記以外のディスクの場合）

リピートキーを押すたびにテレビ画面の表示が次のように変わります。



🔄 **トラック**：再生中のトラックを繰り返し再生します。

🔄 **ディスク**：ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートオフ：通常再生に戻ります。

【ご注意】

ビデオ CD でプレイバックコントロールを使用している際は、リピート再生が機能しない場合があります。

A-B リピート

- ① ディスク再生中、リピートを開始したい位置で A-B キーを押します。
 - ② リピートを終了したい位置で A-B キーを押します。
- A-B リピート再生が始まります。
- ③ A-B リピートを解除するには、A-B キーを押します。

■ シャッフル（VR フォーマット対応ディスクを除く）

ディスク内のタイトルタイトル / グループ / アルバムに複数のチャプターまたはトラックがある場合、チャプターまたはトラックを順不同で再生できます。

ディスク再生中にシャッフルキーを押して、「SHUFFLE」、「SHUFFLE REPEAT」または「SHUFFLE OFF」を選択します。

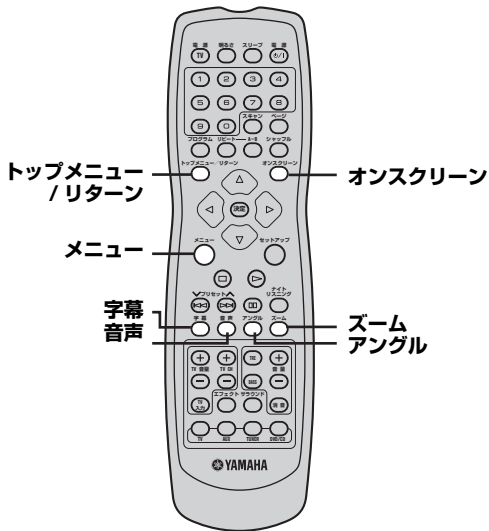
→ 選択モードが数秒間フロントパネルディスプレイに表示されます。

SHUFFLE（シャッフル）：再生中のディスク内にあるすべてのトラックを順不同で再生します。

SHUFFLE REPEAT（シャッフルリピート）：すべてのトラックを順不同で繰り返し再生します。

スーパーオーディオ CD のハイブリッドタイプのディスクについては、通常の CD プレーヤーで再生する CD レイヤー内のトラックがシャッフル再生されます。詳しくは「スーパーオーディオ CD の再生」（28 ページ）をご参照ください。

■ DVD/ビデオ CD/スーパービデオ CD の各種機能



ディスクメニューの操作

ディスクによっては、トレイを閉めると自動的にディスクメニューをテレビ画面に表示するディスクもあります。

◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーまたは数字キーで選択し、決定キーで再生を開始します。

メニューを呼び出す場合または抜け出すには
リモコンのメニューキーを押します。

ディスクメニューの画面表示

再生中にディスク情報を呼び出して、タイトルまたはチャプターの番号、再生経過時間、音声言語、字幕言語などをテレビ画面に表示することができます。

- ① 再生中にオンスクリーンキーを押します。

→ ディスク情報がテレビ画面に表示されます。

メニュー		▶	
タイトル	01/03		
チャプター	01/28		
音声設定	5.1CH	ENG	
字幕	OFF		
ビットレート48		タイトル経過時間 0:00:07	

メニュー		▶	
トラック	01/15		
トータル時間	1:10:53		
トラック時間	0:04:28		
リピート	OFF		
ビットレート75		ディスク経過時間 0:00:05	

- ② ▲ / ▼ キーを押して見たい情報を選択し、決定キーを押して設定に入ります。
- ③ 数字キーまたは ◀ / ▶ キーを押して、数字や時間を入力します。数字キーで左から順に、「時間：分：秒」を入力します。決定キーを押します。

→ 選択したタイトル、チャプター、またはトラックに再生が切り替わります。

ズーム

映像を部分的に拡大します。また、拡大画像を再生中または一時停止中にパン（表示箇所を移動）します。

- ① 再生中または一時停止中にズームキーを押します。

◀ / ▶ / ▲ / ▼ キーで拡大したい部分を移動できます。

再生はそのまま続きます。

- ② ズームキーを繰り返し押して、元のサイズに戻します。

レジューム機能

停止した位置を記憶して、次回そこから再生を始める機能です。DVD レシーバーはディスク10枚分の停止位置を記憶できます。

- ① ディスク（最近再生した10枚のうち1枚）をトレイにセットします。

→ 「LOAD」とディスプレイにメッセージが表示されます。

- ② メッセージ表示中に ▶ キーを押して、前回の停止位置から再生を開始します。

レジューム機能を解除するには

停止した状態でもう一度 □ キーを押すと、レジューム機能が解除されます。

コマ送り

- ① 再生中にリモコンの **⏮** キーを押します。
- ② 再生を一時停止にしてから、繰り返し **⏮** キーを押します。(押すたびに少しずつコマ送りされます。)
- ③ 通常の再生に戻すには、**▶** キーを押します。

音声言語を選択する

複数の音声言語または音声フォーマットを収録しているディスクを再生中に、音声言語やフォーマットを選択することができます。

音声キーを繰り返し押し、お好みの音声言語を選択します。

音声チャンネルを選択する(ビデオ CD のみ)

音声キーを繰り返し押し、「STEREO」、「LEFT MONO」、「RIGHT MONO」、「MIX MONO」のいずれかを選択します。

- ② **◀ / ▶ / ▲ / ▼** キーまたは数字キーでお好みのタイトルを選択します。
- ③ 決定キーを押します。

プレイバックコントロールの操作

プレイバックコントロール(PBC)機能のあるビデオ CD では、テレビ画面にメニューを表示させ、見たい場面や情報を選ぶことができます。

- ① MENU キーを繰り返し押し「PBC ON」または「PBC OFF」を選択します。

→ 「PBC ON」を選択すると、テレビ画面にメニューが表示されます。

→ 「PBC OFF」を選択すると、メニューが表示されずに最初から再生が始まります。

- ② 「PBC ON」を選択した場合、**◀◀** キー / **▶▶** キーまたは数字キーでメニュー項目を選択し、決定キーで決定します。

→ 「PBC ON」が選択されている場合、再生中にトップメニュー/リターンキーを押すと、メニュー画面が表示されます。

■ DVD の各種機能

字幕言語を選択する

複数の字幕言語を収録しているディスクを再生中に、お好みの字幕言語を選択することができます。

字幕キーを繰り返し押し、お好みの字幕言語を選択します。

アングルの選択

同時に複数のアングルから撮影したシーンを収録しているディスクを再生中に、お好みのアングルを選択することができます。

アングルキーを繰り返し押します。

タイトルを選択する

複数のタイトルを収録しているディスクを再生する場合、お好みのタイトルから再生を開始することができます。

- ① トップメニュー/リターンキーを押します。

→ ディスクのタイトルメニュー画面が表示されます。

プレビュー機能

プレビュー機能には以下の2種類があります。

ダイジェスト:

ディスクに収録されている複数のタイトル、チャプター、グループ、またはトラックをサムネールで表示し、ディスク全体から見たい場面を選択することができます。

インターバル:

ディスク全体、またはタイトル、チャプター、グループ、トラックを一定の間隔で等分した場面をサムネールで表示します。見たい場面を選択する際に便利です。



(表示例)

ご注意

- 再生するディスクの種類によって選択できるダイジェストまたはインターバルの種類が異なります。
- また、ディスクの再生状態（再生中または停止状態）によっても、プレビューのメニュー画面の表示が異なります。

(DVD の場合)**タイトルまたはチャプターのプレビュー**

- ① スキャンキーを押します。

→ プレビューのメニュー画面が表示されます。

ダイジェストタイプ選択：
タイトルダイジェスト
チャプターダイジェスト
タイトルインターバル
チャプターインターバル

- ② △ / ▽ キーを押して、「タイトルダイジェスト」、「チャプターダイジェスト」、「タイトルインターバル」、「チャプターインターバル」のいずれかを選択します。
- ③ 決定キーを押すと、選択した種類のプレビュー画面が表示されます。
- ④ ◀▶ / ▶▶ キーで、次または前のページを表示します。
- ⑤ ◀▶ / ▶▶ / △ / ▽ キーでタイトルまたはチャプターを選択します。「選択」のとなりにカーソルを移動させ、数字キーでタイトルまたはチャプターの番号を入力することもできます。
- ⑥ 決定キーを押して選択した場面から再生を開始します。

プレビューを終了するとき

→ 手順③または④を操作中に◀▶ / ▶▶ / △ / ▽ キーを押して [終了] にカーソルを移動させ、決定キーを押します。

プレビューのメニュー画面に戻るとき

→ ◀▶ / ▶▶ / △ / ▽ キーを押して [メニュー] にカーソルを移動させ、決定キーを押します。

■ MP3/DivX/JPEG/ コダックピクチャー CD の再生

DVD レシーバーは市販の JPEG 画像ディスクおよび CD-R や CD-RW ディスクに保存した

JPEG 画像などをテレビ画面に表示することができます。MP3、DivX、JPEG、ビデオ CD、スーパービデオ CD に対応しています。

ご注意

テレビ画面にメニュー画面が表示されていることをご確認ください。詳しくは「テレビ画面を設定する」(20 ページ) をご参照ください。

- ① ディスクをトレイに乗せ、トレイを閉めます。

多くの曲が 1 枚のディスクに編集されているため、読み込み時間が 30 秒を超えることがあります。

→ ディスクメニューがテレビ画面に表示されます。



- ② △ / ▽ キーでお好みのフォルダーを選択し、決定キーで選択したフォルダー内に入ります。
- ③ △ / ▽ キーでトラックまたはフォルダーを選択します。
- ④ 決定キーを押します。

→ 選択したファイルから再生が始まり、フォルダーの最後まで再生します。

◀▶ キー / ▶▶ キーを押すと、現在再生中のフォルダー内にある他のトラックまたはファイルを選択することができます。

ディスク内にある他のフォルダーを選択したい場合は、◀ キーを押してメニュー画面に戻ります。△ / ▽ キーでフォルダーを選択し、決定キーを押します。

再生を一時停止する場合は ⏸ キーを押します。

通常再生に戻る場合は ▶ キーを押します。

メモ

JPEG ディスクを再生中、◀▶ / ▶▶ / △ / ▽ キーで画像を回転できます。

MP3 ディスクの機能

MP3 ディスクフォーマット (ISO9660 フォーマット) は以下に対応しています。

- “.MP3” または “.mp3” がついた MP3 ファイル
- 最大 30 文字
- 最大 8 レベルのディレクトリー
- 最大 99 のアルバム番号
- 最大 999 のトラック番号
- VBR ビットレートに対応
- 32、44.1、48/16、22.05、24kHz の各サンプリング周波数に対応

以下の再生はできません。

- MP3 や JPEG 以外のファイルが収録されたディスク
- MP3 ファイルと JPEG ファイルの同時再生
- 日本語のファイル名、日本語 MP3 テキスト
- ファイナライズされていないディスク
- UDF フォーマットで記録されたディスク

MP3 ディスクの再生について：

- 多くの曲が 1 枚のディスクに編集されているため読み込み時間が 10 秒を超えることがあります。
- マルチセッションディスクに対応しています。
- MP3 ファイルのデジタル出力はコピープロテクトされています。

インターネットからの MP3 ファイルのダウンロードや、お持ちの正規のディスクのコピーは、著作権上取り扱いに十分な配慮が必要です。

JPEG と MP3 の同時再生

- ① MP3 ファイルを再生します。

→ テレビ画面にディスクメニューが表示されます。

- ② MP3 のトラックを選択します。MP3 再生中に画像を選んで▶ キーを押します。

→MP3 の音声再生はそのまま続き、画像が順に切り替わります。

- ③ MENU キーを押すと画像再生が終わり、メニュー画面に戻ります。

- ④ □ キーを押して MP3 の再生を停止します。

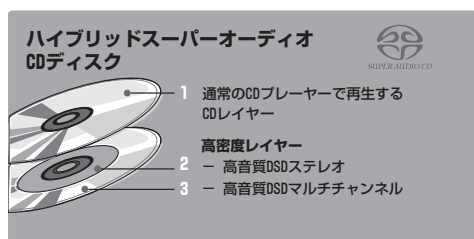
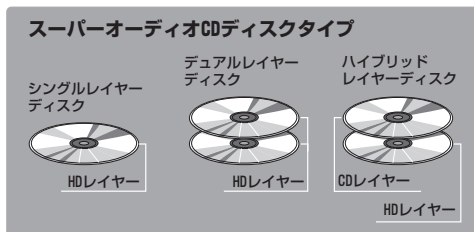
ご注意

- ディスクの構成や特性、録音状況などにより、コダックピクチャー CD、JPEG または MP3 などのディスクを正常に再生できないことがあります。
- さまざまなフォーマットで複数のセッションが収録されたディスクを再生する場合、最初のセッションのみが再生されます。

■ スーパーオーディオCDの再生

スーパーオーディオ CD にはシングルレイヤー (1 層) タイプ、デュアルレイヤー (2 層) タイプ、ハイブリッドタイプの 3 種類のディスクがあります。それぞれのタイプについて、高音質の 2 チャンネル音声で記録されたステレオエリア、または高音質の最大 6 チャンネル音声で記録されたマルチチャンネルエリアが収録されています。

- シングルレイヤータイプのディスクは、1 層の HD (高密度) レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアが収録されています。
- デュアルレイヤータイプのディスクは、2 層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。2 層あるため、シングルレイヤータイプの 2 倍の情報が収録されています。
- ハイブリッドタイプのディスクは、1 層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。もう 1 層が従来のオーディオ CD レイヤーになっているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。



- ① スーパーオーディオ CD をトレイにセットします。

→ ディスクメニューがテレビ画面に表示されます。

- ② 自動的に再生が始まります。

→ スーパーオーディオ CD にマルチチャンネルエリアとステレオエリアが収録されている場合、マルチチャンネルエリアが優先的に再生されます。

→ ステレオエリアを再生する場合、ディスクメニューから △ / ▽ キーでステレオエリアを選択し、▶ キーで再生を開始します。

ご注意

スーパーオーディオ CD 内のトラックをプログラム再生することはできません。

■ ピクチャー CD の機能**ご注意**

テレビ画面にメニュー画面が表示されていることをご確認ください。詳しくは「テレビ画面を設定する」(20 ページ) をご参照ください。

ピクチャー CD をトレイにセットします。

→ コダックピクチャー CD ディスクを再生する場合、自動的にスライドショーが始まります。

→ JPEG ディスクを再生する場合、テレビ画面にピクチャーメニューが表示されます。▷ キーを押すと、スライドショーが始まります。

プレビュー機能 (JPEG)

現在再生中のフォルダーまたはディスク全体の内容を表示します。

① 再生中に □ キーを押します。

→ テレビ画面に 12 枚の画像が表示されます。



(表示例)

② 画像が 12 枚以上ある場合、次のプレビュー画面を見るときは ▷▷ キーを押し、前のプレビュー画面を見るときは ◀◀ キーを押します。

③ ◀ / ▶ / △ / ▽ キーでお好みの画像を選び、決定キーを押して再生を始めます。

④ メニューキーを押すと画像再生が終わり、ディスクメニューに戻ります。

画像のズーム

① 再生中にズームキーを押します。

② ◀ / ▶ / △ / ▽ キーで拡大したい部分を移動できます。

画像の回転

再生中、◀ / ▶ / △ / ▽ キーで画像を回転できます。

△ : 画像を垂直に反転します。

▽ : 画像を水平に反転します。

◀ : 画像を反時計回りに回転します。

▶ : 画像を時計回りに回転します。

画像の切り替え効果

アングルキーを押すたびに、切り替え効果を変更できます。

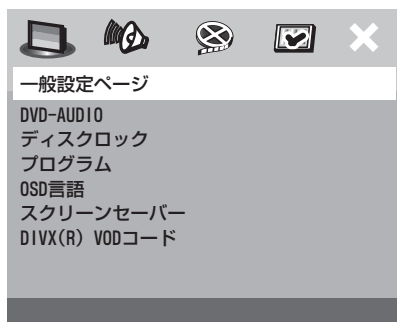
→ テレビ画面の左上に画像の切り替え効果が表示されます。

セットアップメニュー

DVD レシーバーの初期設定をお好みにあわせて変更したり、便利な機能を設定できます。

■ 一般設定ページ

- ① DVD/CD モードに設定し、リモコンのセットアップキーを押します。
- ② ◀ / ▶ キーで「一般設定ページ」を選択し、メニューページに入ります。
- ③ 決定キーを押します。



DVD オーディオ / ビデオモードの選択

「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「DVD-AUDIO」を選択し、▶ で決定します。

「DVD オーディオモード」

DVD オーディオを通常再生するときに選択します。

「DVD ビデオモード」

DVD ビデオコンテンツを再生するときに選択します。

ご注意

- DVD オーディオディスクが再生されているときは、DVD-AUDIO インジケーターが点灯します。
- 「DVD ビデオモード」を選択すると、DVD-AUDIO インジケータが消えます。

ディスクロックの設定

ディスクロックとは、パスワードにより特定のディスクをロックします。ロックしたディスクを再生するには、設定したパスワードの入力が必要になります。DVD レシーバーでは、最大 40 枚までのディスクをロックすることができます。

- ① 「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「ディスクロック」を選択し、▶ キーで決定します。

「ロック解除」

現在 DVD レシーバーに入っているディスクのロックを解除します。ロック解除後は、パスワード入力なしで、再生できます。

「ロック」

現在 DVD レシーバーに入っているディスクをロックします。この設定後、ディスクを再生したいときは、6桁のパスワード入力をして設定を変更してください。パスワード初期値は000000です。詳しくは「パスワードの変更」(37ページ)をご参照ください。

- ② △ / ▽ キーで設定し、決定キーを押します。

プログラム再生

(オーディオ CD、DVD、DVD-オーディオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD)

プログラムを作成すると、トラックやチャプターをお好みの順番で再生することができます。最大 20 トラックまで設定可能です。

- ① リモコンのプログラムキーを押します。

または「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「プログラム」を選択します。▷ キーを押して「入力メニュー」をハイライトします。

- ② 決定キーを押します。



プログラムの入力

- ③ 数字キーでプログラムしたいトラックまたはチャプター番号を入力します。
- ④ ◀ / ▶ / △ / ▽ キーで次の位置へカーソルを移動させます。
→ 10 トラック以上プログラムする場合は、▶▶ キーで次のページを表示させます。または、◀ / ▶ / △ / ▽ キーでプログラムメニューの「次へ」をハイライトし、決定キーを押します。
- ⑤ 手順③と④を繰り返して、他のトラックまたはチャプター番号を入力します。

OSD 言語

セットアップメニューや、テレビ画面に表示させるメニューの言語を変更することができます。詳しくは「音声、字幕、ディスクメニュー言語を設定する」(21 ページ)をご参照ください。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのオン / オフを設定します。

- ① 「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「スクリーンセーバー」を選択します。▷ キーで決定します。

「ON」

再生を停止または一時停止した状態で 15 分以上経過したときに、テレビ画面がスクリーンセーバーに変わります。

「OFF」

上記の状態でも、スクリーンセーバーになりません。

- ② △ / ▽ キーで選択し、決定キーを押します。

DivX® VOD 登録コード

DivX® VOD (ビデオ・オンデマンド) サービスを利用してビデオを賃借または購入するための登録コードを表示します。詳しくは www.divx.com/vod をご覧ください。DVD レシーバーで再生するには、コンピューターで CD-R にダウンロードします。

- ① 「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「DivX (R) VOD コード」を選択し、▷ キーで決定します。

→ 登録コードが表示されます。

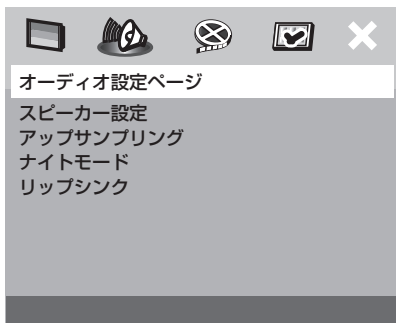
- ② メニュー画面に戻るには、決定キーを押します。

ご注意

- DivX® VOD からダウンロードしたビデオは DVD レシーバーでのみ再生可能です。
- DivX を再生中はタイムサーチ機能が使えません。

■ 音声設定ページ

- ① DVD/CD モードに設定し、セットアップキーを押します。
- ② ◀ / ▶ キーで、「オーディオ設定ページ」を選択します。
- ③ 決定キーを押します。



スピーカー設定

各スピーカーの音量レベル、スピーカーと視聴位置の距離を調節します。詳しくは「スピーカーの設定を調節する」(21 ページ)をご参照ください。

アップサンプリング

音楽 CD を高いサンプリング周波数に変換し、音質を向上させます。アップサンプリングを有効にすると、DVD レシーバーは自動的にステレオモードに切り替わります。

- ① 「オーディオ設定ページ」から ▲ / ▼ キーで「アップサンプリング」を選択し、▶ キーで決定します。

「OFF」

アップサンプリングを無効にします。

「88.2 kHz (X2)」

オリジナルの 2 倍のサンプリング周波数に変換します。

- ② ▲ / ▼ キーで項目を選択し、決定キーを押します。

ご注意

マルチチャンネルモードが選択されている場合、アップサンプリング機能は使用できません。

ナイトモード

大きな効果音を抑えて会話やヴォーカル音声などをはっきりと聞こえるように再生し、かすかな音は聴き取ることができる程度に大きく再生されます。夜間にアクション映画などを視聴するときに便利です。

- ① 「オーディオ設定ページ」から ▲ / ▼ キーで「ナイトモード」を選択し、▶ キーで決定します。

「ON」

ナイトモードが作動すると、ディスプレイに「NIGHT ON」と表示されます。

「OFF」

ナイトモードを無効にします。ディスプレイに「NIGHT OFF」と表示されます。

ご注意

この機能はドルビーデジタル対応の DVD ディスクにのみ有効です。

リップシンク

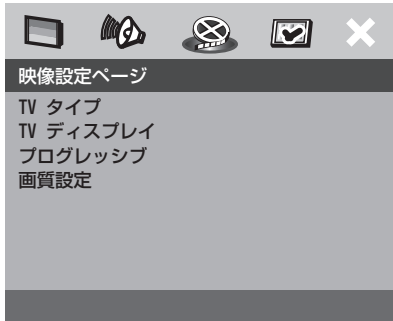
リップシンク機能とは、スピーカーから出力される音声とデジタル処理された映像とのずれを調節する機能です。この出力タイミングのずれを、音声を遅らせて出力することにより補正します。

可変範囲：0 ~ 200ms

- ① 「音声設定ページ」から ▲ / ▼ キーで「リップシンク」を選択し、▶ キーで決定します。
- ② ◀ / ▶ キーで遅延時間(0~200ms)を設定し、決定キーを押します。

■ 映像設定ページ

- ① DVD/CD モードに設定し、セットアップキーを押します。
- ② ◀ / ▶ キーで「映像設定ページ」を選択しメニューページに入ります。
- ③ 決定キーを押します。



- ① 「映像設定ページ」から △ / ▽ キーで「プログレッシブ」を選択し、▶ キーで決定します。

【OFF】

プログレッシブ出力しません。

【ON】

プログレッシブ出力します。

- ② △ / ▽ キーで項目を選択し、決定キーを押します。

→ テレビ画面に設定を確認する表示が出た場合は、表示ガイドにしたがって設定を行ってください。

→ ご使用のテレビが選択されたフォーマットと互換性がない場合は画像が乱れますが、15 秒程度で自動的に回復します。

TV タイプ

DVD レシーバーから出力される映像方式を「NTSC」、「PAL」、「マルチ」から選択できます。詳しくは「テレビの映像出力タイプを設定する」(19 ページ) をご参照ください。

TV ディスプレイの設定

DVD レシーバーに接続しているテレビのサイズに応じて、「4 : 3 パンスキャン」、「4 : 3 レターボックス」、「16 : 9」のいずれかを設定します。詳しくは「テレビ画面を設定する」(20 ページ) をご参照ください。

プログレッシブ機能

DVD レシーバーの D1/D2 モニター出力端子(コンポーネント)は、プログレッシブ信号を出力できます。プログレッシブ対応のテレビで再生することで、高密度でちらつきの少ない高品質な画像が楽しめます。

ご注意

- テレビ側もプログレッシブ対応しているかご確認ください。テレビの操作方法については、ご使用のテレビに付属している取扱説明書をご参照ください。
- DVD レシーバーの D1/D2 モニター出力端子(コンポーネント)とプログレッシブ対応テレビの映像入力端子が接続されている必要があります。

画質設定

色調を自分の好みや再生ソースに合わせて調整できます。

- ① 「映像設定ページ」から △ / ▽ キーで「画質設定」を選択し、▷ キーで決定します。

【標準】

標準的な画質になります。

【明るい】

画像がより明るく映し出されます。

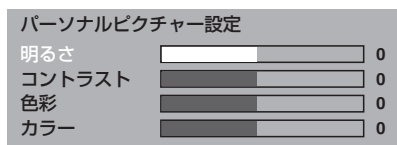
【ソフト】

画像がより柔らかく映し出されます。

【パーソナル】

明るさ、コントラスト、色彩、カラーの画質調整ができます。

- ② △ / ▽ キーで項目を選択し、▷ キーで決定します。
- ③ 「パーソナル」を選択すると、テレビ画面にメニューが表示されます。



- ④ △ / ▽ キーを押して、次のメニューから変更したい項目を選択します。

【明るさ】

◀ / ▶ キーで、画像全体の明るさを調整できます。「0」が平均的な明るさです。

【コントラスト】

◀ / ▶ キーで、明暗の強弱を調整できます。「0」が平均的なコントラストです。

【色彩】




◀ / ▶ キーで、色合いを調整できます。「0」が平均的な色彩です。

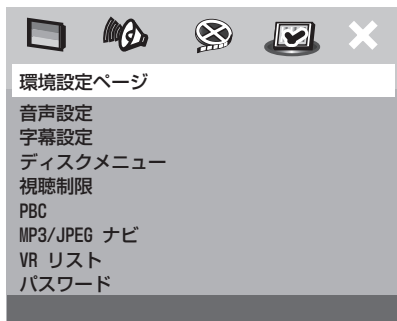
【カラー】

◀ / ▶ キーで、色のレベルを調整できます。「0」が平均的なカラーです。

- ⑤ ◀ / ▶ キーを使用して、設定値を調節します。
- ⑥ 手順④と⑤を繰り返し、他の画質設定の項目を調節します。
- ⑦ 決定キーを押します。

■ 環境設定ページ

- ① リモコンの  キーを2回押して再生を停止し、セットアップキーを押します。
- ②  /  キーで「環境設定ページ」を選びます。
- ③ 決定キーを押します。






音声、字幕、ディスクメニュー言語

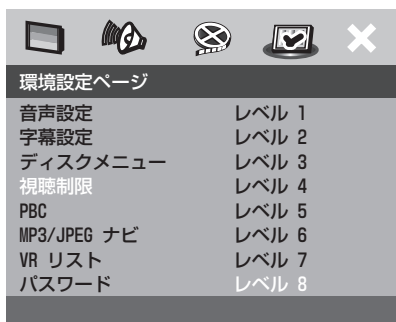
音声言語、字幕言語、ディスクメニュー言語をそれぞれ設定することができます。詳しくは「音声、字幕、ディスクメニュー言語を設定する」(21 ページ) をご参照ください。



視聴制限

視聴制限レベルの設けてある DVD (ディスクのジャケットなどに表示があります) では、お子様が視聴するのに適さないシーンがある場合、ディスク全体または特定のシーンに視聴制限をかけることができます。8段階のレベル設定がありますが、国によって制限レベルが異なります。

「視聴制限」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

- ① 「環境設定ページ」から  /  キーで「視聴制限」を選択し、 キーで決定します。



- ②  /  キーで、DVD レシーバーにセットされているディスクの視聴制限レベルを設定し、決定キーを押します。
- ③ 数字キーを使って、6桁のパスワードを入力します。初期設定では「000 000」がパスワードに設定されています。必要に応じて「パスワードの変更」(37 ページ) をご参照ください。

→ 視聴制限レベルを設定すると、それより高い視聴制限レベルに指定されているディスクを DVD レシーバーで再生できなくなります。ロックしたディスクを再生するには、パスワード入力が必要になります。

視聴制限レベルについて

数値が小さいほど視聴制限は厳しくなります。たとえば、レベル 3 (PG) に設定した状態でレベル 4 (PG13) のディスクを再生しようとするとき暗証番号の入力画面になります。シーンごとにレベル設定されているディスクならば、そのシーンをとばすか、代替シーンが収録されている場合は、それを再生することもできます。

ご注意

- ビデオ CD、スーパービデオ CD、CD、スーパーオーディオ CD や海賊版 DVD などに視聴制限をかけることはできません。
- ディスクのジャケットに表示がある場合でも、レベルがコード化されていないために、視聴制限機能が効かないことがあります。

PBC (プレイバックコントロール)

プレイバック再生を「ON」または「OFF」にできます。この機能はビデオ CD2.0 にのみ有効です。詳しくは「プレイバックコントロールの操作」(26 ページ) をご参照ください。

MP3/JPEG ナビ

MP3 や JPEG 画像を再生するときに、再生方法の操作画面を表示するかしないかを設定します。

- ① 「環境設定ページ」から △ / ▽ キーで「MP3/JPEG ナビ」を選択し、▷ キーで決定します。

「メニューあり」

操作画面を表示し、お好みのファイルを選んで再生します。

「メニューなし」

操作画面を表示せず、すべてのファイルを自動的に再生します。

- ② △ / ▽ キーで設定し、決定キーを押します。

VR フォーマットの再生

VR（ビデオレコーディング）フォーマットには、ディスクに実際に記録される「オリジナルリスト」とオリジナルを元に編集して作成される「プレイリスト」という 2 種類のタイトルがあります。この設定は、VR フォーマットに対応していないディスクでは選択できません。

- ① 「環境設定ページ」から △ / ▽ キーで「VR リスト」を選択し、▷ キーで決定します。「オリジナルリスト」または「プレイリスト」を選択します。

「オリジナルリスト」

実際に記録されているタイトルを再生します。

「プレイリスト」

オリジナルを元に編集して作成されたタイトルを再生します。プレイリストが作成されていない場合は選択できません。

- ② △ / ▽ キーで選択し、決定キーを押します。

VR フォーマットのディスクを再生する

- ③ セットアップキーを押して、セットアップメニューを終了します。
- ④ ▷ キーを押します。

→ 選択したタイトルの再生が始まります。

VR フォーマットのプレビュー

- ① 再生中にスキャンキーを押します。
- ② 「タイトルダイジェスト」または「タイトルインターバル」を選択します。

ダイジェストタイプ選択:
タイトルダイジェスト
タイトルインターバル

- ③ 決定キーを押します。

「タイトルダイジェスト」

1 度に 6 タイトルが表示され、見たいタイトルを探すことができます。

→ 「オリジナルリスト」を選択した場合、実際に記録されているタイトルが表示されます。

→ 「プレイリスト」を選択した場合、プレイリスト内のすべてのタイトルが表示されます。

「タイトルインターバル」

再生中のタイトルの内容を等間隔で分割して表示します。1 度に 6 つの画像が表示され、タイトル全体から見たい場面を探すことができます。



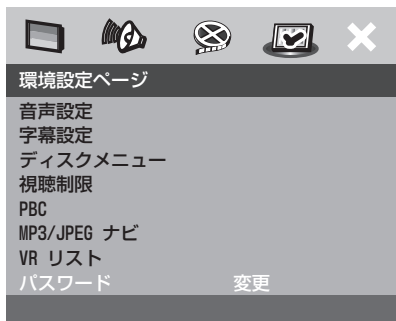
(表示例)

→ 再生中のタイトルが短い場合「タイトルダイジェスト」機能に切り替わります。

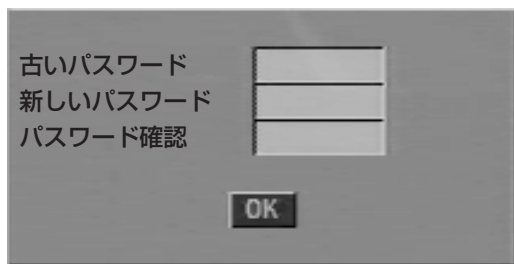
パスワードの変更

「ディスクロック」と「視聴制限」で使用する6桁のパスワードを設定します。工場出荷時のパスワードは「000 000」です。

- ① 「環境設定ページ」から △ / ▽ キーで「パスワード」を選択し、▷ キーで決定します。



- ② 決定キーを押します。
→ パスワード変更メニューが表示されます。



- ③ 数字キーで現在の（古い）パスワードを入力します。
→ はじめてパスワードを設定するときは、「000 000」を入力します。
→ パスワードを忘れてしまったときは、「000 000」を入力します。
- ④ 新しいパスワードを入力します。
- ⑤ もう1度新しいパスワードを入力します。
- ⑥ 決定キーを押します。
→ 新しいパスワードの登録完了です。

DivX 文字コードの選択

DivX® VOD（ビデオ・オンデマンド）サービスを利用してダウンロードしたビデオに字幕がある場合、字幕言語の文字コードを選択することができます。

- ① 「環境設定ページ」から △ / ▽ キーで「DivX 字幕」を選択します。▷ キーを押して「標準」または「キリル文字」を選択します。
- ② 決定キーを押します。

ご注意

初期設定は「標準」ですが、字幕が正しく表示されない場合は、「キリル文字」を選択してください。ただし文字コードがサポートされていない場合、字幕言語が正しく表示されません。

デフォルト

セットアップメニューの設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- ① 「一般設定ページ」から △ / ▽ キーで「デフォルト」を選択します。▷ キーを押して「リセット」を選択します。
- ② 決定キーを押します。

→ パスワード、視聴制限、ディスクロック、DVD オーディオモードの設定以外が、工場出荷時の初期設定値になります。

チューナーの操作

ご注意

DVD レシーバーに FM アンテナと AM アンテナが接続されていることをご確認ください。

■ 放送局を選局する

① リモコンの TUNER キーを押します。ディスプレイに「TUNER/FM」(FM 放送)または「TUNER/AM」(AM 放送)と表示されます。どちらかを選択します。

② △ / ▽ キーを押します。

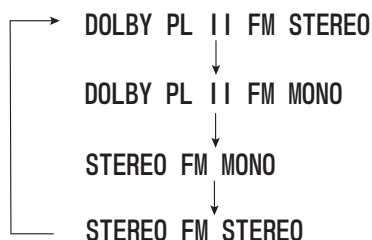
→ ディスプレイに「SEARCH」と表示されます。

→ 次の放送局が自動的に選択されます。

③ 手順②を繰り返して、お好みの放送局を選択します。

④ 電波の弱い放送局を選択する場合、◀ / ▶ キーを数回押して周波数を調節しながら選局します。

放送局の受信が良くない地域にお住まいの場合や電波の弱い放送局を受信する場合、FM モードをステレオから MONO に切り替えることもできます。リモコンのサラウンドキーを押すたびに下記の順番で表示が変わります。



■ 放送局を登録する (プリセット)

本機には、お好みの放送局 (FM 放送 20 局 : AM 放送 10 局) を登録することができるプリセット機能があります。

ご注意

- プリセット設定中 20 秒経過しても操作が行われない場合、自動的にプリセットから抜け出します。
- プラグアンドプレイ機能で受信可能な周波を感知できない場合、ディスプレイに「CHECK ANTENNA」と表示されます。アンテナが正しく設置されているかご確認ください。

プラグアンドプレイ機能

プラグアンドプレイ機能とは放送局を選局し、自動登録する機能です。

① リモコンの TUNER キーを押します。

→ 「AUTO PRESET」と「PRESS PLAY」が交互にディスプレイに表示されます。

② DVD レシーバーのフロントパネルの ▶ キーを押して、登録を開始します。

→ ディスプレイに「AUTO PRESET」と表示されます。

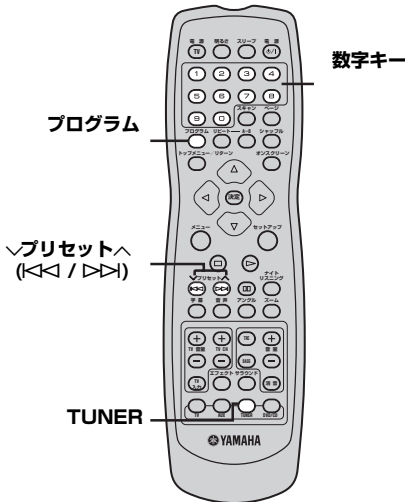
→ 登録が終了すると、最後に登録された放送局が選局されます。

→ 登録は FM 放送局から順に始まり、AM 放送局の順で登録されます。

③ 登録をやめる場合は、□ キーを押します。

放送局を自動登録する (自動プリセット)

最初に選局される放送局のプリセット番号を指定して、自動登録を開始することができます。



- ① リモコンの TUNER キーを押します。ディスプレイに「TUNER/FM」または「TUNER/AM」と表示されます。
- ② ◀▶ キーまたは数字キーを使ってプリセット番号を入力します。
- ③ リモコンのプログラムキーを数秒間押しと「AUTO PRESET」とディスプレイに表示されます。

→ プリセット番号の入力がない場合、プリセット番号 1 から順に自動登録を開始します。すでに放送局が登録されている番号に新しい放送局を登録すると、以前登録されていた放送局は消去され、新しい放送局が登録されます。

放送局を手動登録する (手動プリセット)

お好みの放送局を選んで登録することができます。

- ① 登録したい放送局を選局します。詳しくは「放送局を選局する」(38 ページ) をご参照ください。
- ② リモコンのプログラムキーを押します。
- ③ ◀▶ キーでプリセット番号を選択します。
- ④ プログラムキーをもう一度押して登録します。

登録した放送局を選局する (プリセット選局)

◀▶ / ▶▶ キーまたは数字キーで、聴きたい放送局のプリセット番号を入力します。

→ ディスプレイにウェーブバンド、プリセット番号、ラジオ周波数の順に表示されます。

プリセットを解除する

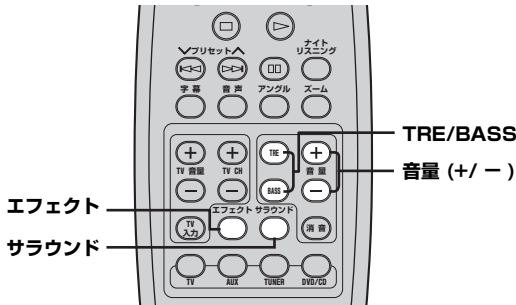
本機の **□** キーを「AM XX DELTD」または「FM XX DELTD」と表示されるまで長押しします (XX とはプリセット番号です)。

→ 現在選局している放送局の登録が解除されます。

サウンドの調節

ご注意

高品質な音響効果をつくりだすには、DVD レシーバーとスピーカーが正しく接続されているかご確認ください。詳しくは「スピーカーを接続する」(12 ページ)をご参照ください。



■ サラウンド再生とステレオ再生を切り替える

- ・ リモコンのサラウンドキーを押して「マルチチャンネル」または「ステレオ」を選択します。
- ・ サラウンド再生は、再生するディスクによって異なります。
- ・ マルチチャンネルサラウンドモードを選択した場合のみ、センタースピーカーとサラウンドスピーカーから音声出力ができます。
- ・ チューナーモードでステレオ放送を受信する際、サラウンド再生を選択するとサラウンドチャンネルでの再生ができます。ただし、mono (モノラルソース) では、サラウンドスピーカーから音声を出力することはできません。

ご注意

- ー システムセットアップメニューが選択されている場合、サラウンド再生の切り替えはできません。

■ デジタル音場効果を選択する

再生するディスクの内容や音楽のスタイルに合わせて、デジタル音場効果を選択することができます。

リモコンのエフェクトキーを押します。

DVD で映画を再生する場合、または TV モードの場合：

CONCERT、DRAMA、ACTION、または SCI-FI のの中から選択できます。

TUNER または AUX モードで音楽を再生する場合：

ROCK、DIGITAL、CLASSIC、または JAZZ のの中から選択できます。

ご注意

デジタル音場効果を選択している場合、TREBLE (高音域) と BASS (低音域) のレベルは調節できません。

■ 高音と低音レベルを調節する

TREBLE (高音域) と BASS (低音域) のレベルを調節することによって、さらにリアルなサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

- ① リモコンの TRE または BASS を押します。
- ② 5 秒以内にリモコンの音量 (+/-) キーで、高音域と低音域のレベルを調節します。

ご注意

5 秒以内に操作が行われない場合、操作はキャンセルされ通常の音量設定に戻ります。

■ 音量を調節する

音量を上げるにはリモコンの音量+キー、下げるには音量-キーを押します。

→ 音量を最小にすると「VOL MIN」とディスプレイに表示されます。音量を最大にすると「VOL MAX」と表示されます。

一時的に消音するには

リモコンの消音キーを押します。

→ 消音になっている状態で再生は続きます。

消音を解除するには

再度消音キーを押します。

■ ナイトリスニング

ナイトリスニングを設定すると、大きな効果音を抑えて会話やヴォーカル音声などをはっきりと聞こえるように再生し、かすかな音は聴き取ることができる程度に大きく再生されます。夜間にアクション映画などを視聴するときに便利です。

リモコンのナイトリスニングキーを押します。

→ ナイトリスニングが作動すると、ディスプレイに「NIGHT ON」と表示されます。

ご注意

この機能はドルビーデジタル対応のDVDディスクにのみ有効です。

■ アクティブモードに切り替える

リモコンのTUNERキーを押すと、ディスプレイの表示が次のように変わります。

TUNER/FM



TUNER/AM

リモコンのAUXキーを押すと、ディスプレイの表示が次のように変わります。

AUX/ANALOG



AUX/DIGITAL

その他の操作

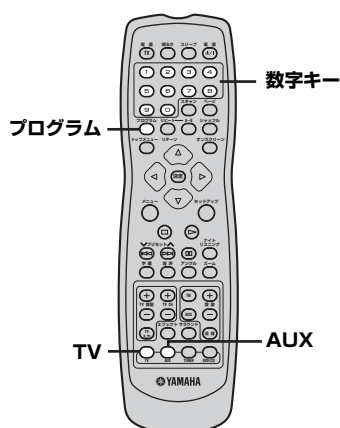
■ スタンバイ状態に切り替える

DVD レシーバーの STANDBY/ON キー、またはリモコンの電源 (電源) キーを押します。

→ スタンバイ (待機) 中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。

■ リモコンコードを設定する

外部 AV 機器のリモコンコードを DVD レシーバーのリモコンに登録しておくと、リモコンで外部 AV 機器を操作することができます。



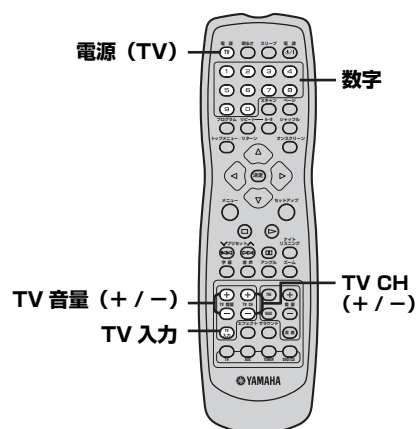
- ① TV キーを押したまま、プログラムキーを押します。
- ② 数字キーを使って4桁のリモコンコードを入力します。詳しくは「リモコンコード一覧」(50 ページ) をご参照ください。
- ③ 再度プログラムキーを押して登録を終了します。

■ 外部 AV 機器の操作

外部 AV 機器のリモコンコードを登録すると、DVD レシーバーのリモコンを使用して DVD レシーバーに接続したテレビやビデオデッキなどの外部機器を操作することができます。外部 AV 機器の機種によっては、DVD レシーバーのリモコンで一部の機能を操作できない場合があります。

テレビを操作する

テレビを操作する場合、リモコンの TV キーを押します。



操作に使用するキー

電源 (TV) キー

テレビの電源をオンまたはスタンバイ (待機) に設定します。

TV 音量 (+/-) キー

テレビの音量を調節します。

TV 入力キー

テレビの入力を切り替えます。

数字キー

数字を入力してテレビのチャンネルを切り替えます。

TV CH (+/-) キー

テレビのチャンネルを切り替えます。

■ フロントパネルディスプレイの明るさ調節

リモコンの明るさキーを押して、DVD レシーバーのディスプレイをお好みの明るさに調節します。

DIM 1：70%の明るさにします。

DIM 2：40%の明るさにします。

DIM OFF：通常の明るさに設定します。

■ スリープタイマーの設定

スリープタイマーを設定すると、設定した時間の経過後、本機の電源を自動的にスタンバイ状態に切り替えることができます。

- ① リモコンのスリープキーを押して、ディスプレイに「SLEEP XX」を表示させます。(XX は、スリープタイマーを設定する時間を分単位で表します。例：15、30、45、60、OFF)
- ② リモコンのスリープキーを繰り返し押しすと、順に 15、30、45、60、OFF とディスプレイの設定時間が変わります。お好みの設定時間を選択します。

→ ディスプレイに「SLEEP」と表示されます。ただし「SLEEP OFF」を選択した場合は表示されません。

→ DVD レシーバーがスタンバイ（待機）に切り替わる 10 秒前から、ディスプレイにカウントダウンが表示されます。

「SLEEP 10」→ 「SLEEP 9」.... →

「SLEEP 2」→ 「SLEEP 1」

スリープタイマーを解除するには

リモコンの SLEEP キーを繰り返し押しして、「SLEEP OFF」を選択します。

■ 外部AV機器で録画/録音する

- ① 外部レコーダーを DVD レシーバーに接続すると、DVD レシーバーで再生している映像や音声を外部レコーダーで録画したり、録音することができます。外部レコーダーの接続方法については、「その他の AV 機器を接続する」（16 ページ）をご参照ください。
- ② リモコンの入力選択キー（DVD/CD、TIMER、TV、または AUX）を押して入力を選択し、録音するソースの再生を準備します。
- ③ 外部 AV 機器の録音を開始します。

ご注意

外部レコーダーの機能については、ご使用の機器に付属している取扱説明書をご参照ください。

故障かな？と思ったら

使用中に DVD レシーバーが正常に作動しなくなった場合は、まず下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、DVD レシーバーの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

症状	解決方法
電源が入らない	電源プラグがしっかりと差し込んであるかご確認ください。 DVD レシーバーの STANDBY/ON キーを押して電源を入れます。
映像が出ない	正しいビデオ入力を選択してください。詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください。 DVD/CD モードになっていることをご確認ください。
映像が歪む、または色が正しく表示されない	テレビタイプの設定を変更する際に左記の症状が発生した場合は、15 秒間自動的に回復するのを待ってください。 プログレッシブスキャン機能を再生する際に左記の症状が発生した場合は、15 秒間自動的に回復するのを待ってください。 全てのケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。 画像が多少歪むことがあります。故障ではありません。 ディスクに汚れがある場合は拭いてください。
テレビ設定をしても画面サイズが切り替えられない	ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。 「TV 設定」で選択した設定が、ご使用のテレビの仕様と一致しているかご確認ください。
音が出ない、または歪む	接続したアンプやテレビのボリュームを調節してください。 スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。 全てのスピーカーケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。 オーディオケーブルが正しく接続されていることを確認し、ソースの入力選択ボタン（TV や AUX など）を押してください。 サブウーファースの電源コードが正しく接続されているかご確認ください。 DVD レシーバーの対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。
片側のチャンネルの音がほとんど出ない	スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。
アングルや字幕、音声言語などの機能が作動しない	ディスクによって操作できない機能があります。ディスクのジャケット等にある説明もご覧ください。
DVD をビデオデッキで録画できない	コピープロテクトがかかっている DVD は、複製することができません。
ディスクが勝手にイジェクトされる（ディスクトレイが開く）	DVD レシーバーの対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。
テレビ画面に表示されるメニュー項目を選択できない	セットアップメニューに入る前に、□キーを 2 度押して再生を停止してください。 ディスクによっては選択できないメニュー項目があります。
ディスクが再生できない	DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW のレコーダーでファイナライズされていないディスクは再生できません。 DVD レシーバーで再生できるディスク、映像方式（PAL または NTSC）およびリージョンコードをご確認ください。 ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを再生してみてください。 セットアップメニュー画面を消すには、セットアップキーを再度押します。 視聴制限レベルの変更や、ディスク再生の際にはパスワードの入力が必要です。 DVD レシーバーの内部に結露が発生することがあります。ディスクを取り出し、1 時間程度電源を入れた状態で放置してください。

症状	解決方法
DVD レシーバーで再生している音声を外部レコーダーで録音できない	適切なオーディオソースを使用してください。
DVD レシーバーに接続した AV 機器で再生している音声を外部レコーダーで録音できない	DVD レシーバーと AV 機器をアナログ接続してください。
音量が大きくなりません / 音が歪む	DVD レシーバーに接続している機器の電源を入れてください。
センタースピーカー / サラウンドスピーカー / サブウーファーから音が出ない	センタースピーカー / サラウンドスピーカー / サブウーファーが正しく接続されていることをご確認ください。
	セットアップメニューで、センタースピーカー / サラウンドスピーカー / サブウーファーの音量を調節してください。
	リモコンのサラウンドキーで、正しいサラウンド設定を選択してください。
	再生しているソースがサラウンド音声 (DTS、ドルビーデジタルなど) で録音または放送されていることをご確認ください。
フロントパネルディスプレイに「SPEAKER ERR」と表示される	サブウーファーの電源コードを抜いた状態で、フロントスピーカー / センタースピーカー / サラウンドスピーカーが正しく接続されているかご確認ください。
	DVD レシーバーの電源モードをスタンバイ状態にして電源コードを抜いてください。約 30 秒経ってから電源コードをコンセントに再接続して電源をオンにしてください。
放送局の受信感が悪い	選択している放送局の電波が弱い場合、アンテナの高さや方向、設置場所を調節するか、別売りの屋外アンテナをご使用ください。
	DVD レシーバーをテレビやビデオデッキから離して設置してください。
	正しい周波数に合わせてください。
	電気製品から雑音が出ている場合があります。アンテナをすべての機器から離して設置してください。
リモコンで DVD レシーバーを正しく操作できない	リモコンのキー (▶ キー / ◀◀ / ▶▶ キー) を押す前に、入力モードを選択してください。
	リモコンの操作範囲内で操作してください。
	新しい電池と交換してください。
	リモコン赤外線送信部を DVD レシーバーのリモコン受光窓に向けて操作してください。
	電池が正しくセットされていることをご確認ください。
リモコンで DVD レシーバーに接続した外部 AV 機器を操作できない	ご使用の機器のリモコンコードを確認後、リモコンコードを再度登録してください。また外部機器の機種や製造年によっては、DVD レシーバーのリモコンで一部またはすべての機能を操作できない場合があります。この場合は各機器に付属しているリモコンをご使用ください。
DivX の映像を再生できない	DivX ファイルが DivX バージョン 5.x の「Home Theater」モードでエンコードされていることをご確認ください。
DVD レシーバーが作動しない	電源コードを抜き、数分後にコンセントに再接続して電源をオンにしてください。

AAC (Advanced Audio Coding)

アドバンスド オーディオ コーディング
MPEG-2 オーディオ規格に含まれるデジタル圧縮オーディオ信号です。BS / 地上波デジタル放送で採用されています。モノラル音声から最大で7チャンネル音声までを効率良く圧縮して記録、伝送できます。

ディベックス DivX

DivXNetwork, Inc が開発した、映像や音声データを圧縮、伸張するプログラムです。3.11、4x、5x などがあります。高画質のままファイル容量を小さくすることができます。DivX 形式に映像を変換したり、作成したファイルを再生するには DivX 対応コーデイングが必要です。

DTS (Digital Theater Systems)

デジタル シアター システムズ
Digital Theater Systems 社が開発したデジタル・サラウンド・システムです。最大 5.1 チャンネルのサウンドが再生でき、ドルビーデジタルよりも圧縮率が低いため、リアルな音響効果が得られます。

JPEG (Joint Photographic Coding Experts Group)

ジョイント フォトグラフィック コーディング
静止画像を 10 分の 1 ~ 100 分の 1 に圧縮する技術です。名称は、画像圧縮アルゴリズムを制定する目的で設立された団体の名前 (Joint Photographic Coding Experts Group) に由来します。風景や写真データなどを圧縮するのに効果的です。

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

エムペグ オーディオ レイヤー スリー
高い品質を保ったまま、データ量を大幅に圧縮できる音声データ圧縮技術です。MPEG 1 と MPEG 2 の音声圧縮で使われています。CD 品質のデジタルサウンドデータを約 10 分の 1 に圧縮できます。

MPEG (Moving Pictures Experts Group)

エムペグ ムービング ピクチャー エキスパート グループ
動画および音声の圧縮規格の名称です。ISO (工業標準の策定を目的とする国際機関 International Organization for Standardization の略) と IEC (電気、電子、通信、原子力などの分野で各国の規格・標準の調整を行なう国際機関 International Electrotechnical Commission の略) が共同で標準化しました。MPEG 1、MPEG 2、MPEG 4 の 3 つの規格があります。MPEG 1 の画質は VHS ビデオ並みで、ビデオ CD などでも利用されています。MPEG 2 の画質は S-VHS ビデオ並みで、DVD ビデオなどで利用されています。

VR (ビデオレコーディング) フォーマット

録画後に編集ができる、DVD の記録方式です。VR フォーマット対応のプレーヤーでのみ再生可能です。

S ビデオ端子

S ビデオ信号を入出力する端子です。映像信号を、輝度を表す Y 信号と色を表す C 信号に分けて伝送するため、より美しい映像で録画、再生を楽しむことができます。

アスペクト比

画面や画像の縦と横の長さの比率です。従来のテレビは 3 対 4、ワイドテレビなどは 9 対 16 です。

アナログ

データが時間的または空間的に連続して変化する量で表されることです。アナログ端子は、左右 2 つのチャンネルから音声を出力します。

インターレース

1 画面の走査線を奇数段、偶数段に分け、交互に表示する走査方式です。通常のテレビに使われていません。

コンポーネントビデオ端子

コンポーネントビデオ信号を入出力する端子です。映像信号を、輝度を表す Y 信号と色を表す Pb/Cb 信号及び Pr/Cr 信号の 3 系統に分け、それぞれの信号を独立して伝送するため、色をより忠実に再現できます。

サラウンド

リスナーの周囲に複数のスピーカーを配置することで、3次元の音場効果を生み出すシステムです。

視聴制限

青少年に好ましくないディスクや場面の視聴を拒否するために DVD ビデオに組み込まれた機能です。

スーパーオーディオ CD

2層構造の CD で、一方の層に従来の音楽 CD データが記録され、もう一方の層に高密度なデータが記録されています。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの 3 種類のタイプがあります。ハイブリッドレイヤーのディスクは、1 層のレイヤーに 2 種類のデータが記録され、もう 1 層に従来の音楽 CD データが記録されているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。

ディスクメニュー

DVD に音声、字幕、アングルなどの情報が収録されている場合、テレビ画面にメニューが表示されます。これらのメニューをディスクメニューと呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル・サラウンド・システムです。完全に独立したマルチチャンネル音声を再生することができます。全帯域の音声成分を持つフロントの3チャンネル（フロントL/R、センター）と、サラウンドのステレオ2チャンネル、低音域専用のLFE0.1チャンネルの、合計5.1チャンネルで構成されます。サラウンドがステレオ2チャンネルで収録されているため、音の移動感、木々のざわめきや波の音などの繊細な環境音もきめ細かく再現できます。

ビット

コンピューターで扱う最小の情報単位で、2進数を意味する binarydigit の略です。オーディオ用語では、アナログ信号をデジタル化する時の分解能のことを指します。ビット数が大きくなればダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の差）が大きくなり、より細かな音量の変化が記録できます。音楽CDのビット数は16bit(ビット)、DVDオーディオでは最大24bit(ビット)です。

ビットレート

1秒間あたりのビット量です。

プレイバックコントロール (PBC)

テレビ画面に表示されるメニュー画面を見ながら、ビデオCDやスーパービデオCDの見たい場面や情報を選ぶことができる機能です。

プログレッシブ

1画面のすべての走査線を1度に表示する走査方式です。インターレースに比べ、ちらつきが少なく滑らかな画像を映し出すことができます。

リージョンコード

DVDビデオの再生可能地域を限定するコードです。映画上映前の地域にDVDビデオが出回らないことを目的に、DVDに組み込まれています。リージョンコードは全部で6つあり、地域ごとに割り当てられています。DVDプレーヤーとディスクのリージョンコードが一致しないと再生できません。

参考資料

■ 主な仕様

DVD レシーバー (DVR-S300)

チューナー部

FM 受信周波数範囲 76.0 ~ 90.0 MHz
AM 受信周波数範囲 531 ~ 1602 kHz

ディスク部

レーザータイプ 半導体
ディスク直径 12 cm/8 cm
ビデオデコード MPEG-1 / MPEG-2 / DivX 3.11, 4.x & 5.x

ビデオ DAC 12 ビット / 108 MHz
映像信号方式 PAL/NTSC
ビデオフォーマット 4:3/16.9
コンポジットビデオ出力 1.0 Vp-p, 75 ohm
S ビデオ出力 Y - 1.0 Vp-p, 75 ohm
C - 0.3 Vp-p, 75 ohm

コンポーネントビデオ出力 Y - 1.0 Vp-p, 75 ohm
Pb/Cb Pr/CR - 0.7 Vp-p, 75 ohm

オーディオ DAC 24 ビット / 192 kHz
再生周波数帯域 4 Hz - 20 kHz (44.1 kHz)
4 Hz - 22 kHz (48 kHz)
4 Hz - 44 kHz (96 kHz)

オーディオ S/N 比 105 dB
全高調波歪率 0.0035%
ダイナミックレンジ 95 dB

オーディオフォーマット

デジタル ドルビーデジタル / DTS/MPEG Compressed Digital
PCM/Packed PCM
16, 20, 24 ビット
サンプリング周波数 44.1, 48, 88.2,
96, 176.4, 192 kHz
MP3 (ISO 9660)
24, 32, 56, 64, 96, 128, 256 kbps
サンプリング周波数 16, 22.05, 24,
32, 44.1, 48 kHz
WMA 32 ~ 192 kbps, mono, stereo

総合

電源電圧 / 周波数 100V, 50/60 Hz
消費電力 15W
入力感度
- AUX In, TV In 300 mV
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)
360 x 53 x 310 mm
質量 2.7 kg

センタースピーカー (NX-C301)

型式 2 ウェイ式
インピーダンス 6 Ω
スピーカーユニット 7.0 cm ウーファー x 2 + 1.9 cm ツィーター
再生周波数帯域 100 Hz ~ 20 kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行き) 300 x 84 x 78 mm
質量 1.0 kg

フロント / サラウンドスピーカー (NX-S301)

型式 2 ウェイ式
インピーダンス 6 Ω
スピーカーユニット 7.0 cm ウーファー + 1.9 cm ツィーター
再生周波数帯域 100 Hz ~ 20 kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行き) 83 x 181 x 78 mm
質量 0.6 kg

サブウーファー (NX-SW301)

電源電圧 / 周波数 100V, 50/60 Hz
消費電力 145 W
型式 パスレフ式
インピーダンス 6 Ω
スピーカーユニット 16 cm ウーファー
再生周波数帯域 40 Hz ~ 100 Hz
外形寸法 (幅×高さ×奥行き) 200 x 390 x 382 mm
質量 11.5 kg

アンプ部

出力
- フロント 75 W (全高調波歪率 10%
1 kHz) / チャンネル
- サラウンド 75 W (全高調波歪率 10%
1 kHz) / チャンネル
- センター 75 W (全高調波歪率 10%
1 kHz)
- サブウーファー 75 W (全高調波歪率 10%
100 Hz)
再生周波数帯域 20 Hz ~ 20 kHz / - 3 dB
S / N 比 > 95 dB

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

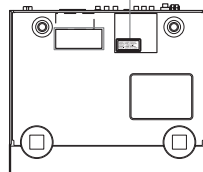
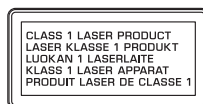
レーザー

タイプ 半導体レーザー GaAlAs
波長 650 nm (DVD/SA-CD)
780 nm (VCD/CD)
出力 7mW (DVD/SA-CD)
10mW (VCD/CD)
ビーム広がり 60 度

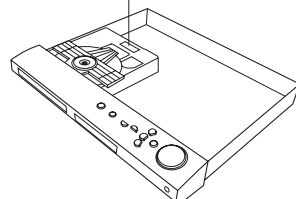
ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は有害な放射を引き起こす可能性があります。

クラス 1 レーザー製品



CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN
DO NOT STARE INTO BEAM
DANGER: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN
AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM



■ 言語コード一覧

アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アフガル	6565
アフリカーンス	6570
アブバジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イスピアク	7375
イタリア	7384
イディッシュ	8973
インターリングア	7369
インターリングア	7365
インドネシア	7368
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスベラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
オロモ	7977
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
カナダ	7578
カンボジア	7577
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
キニャルワンダ	8287
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クオアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576

グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンゴ	8371
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7486
スウェーデン	8386
スペイン ; Castilian	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズルー	9085
セルビア	8382
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ツォンガ	8483
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7866
ノルウェー	7879
ハウサ	7265

ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
バシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビスラマ	6673
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
プロバンス	7967
ヘブライ	7269
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ベルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンズ	8277
ロシア	8285
ヴォラピュック	8679

■ リモコンコード一覧

- ・外部 AV 機器の機種によっては、DVD レシーバーのリモコンで操作できない場合や、限られた機能しか操作できない場合があります。このような場合は各機器に付属しているリモコンをご使用ください。
- ・複数のリモコンコードが記載されている場合は、お使いの機器に一致するものが見つかるまで順番にお試しください。

テレビ

メーカー名	リモコンコード							
ヤマハ	1009	1011	1036	1068				
Daewoo	1009	1016	1023	1032	1039	1079	1083	1084
フナイ	1048	1052	1053	1069				
LG/Goldstar	1002	1003	1009	1011	1014	1016	1021	1052
日立	1015	1021	1036					
JVC (ビクター)	1013	1019	1025	1042				
三菱	1009	1033	1034	1038	1081			
NEC	1009	1011	1013	1021	1047			
パナソニック	1018	1043	1068	1086				
フィリップス	1014	1020						
パイオニア	1015	1046	1049	1085	1086			
Samusung	1009	1011	1014	1021	1022	1031	1051	
サンヨー	1039	1060	1079					
シャープ	1016	1033	1045					
ソニー	1001	1006						
東芝	1012	1013	1022	1039	1040			

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご利用いただくためのものです。サービスの依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-01-1808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
FAX (022) 236-0007

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

四国 〒760-0029 高松市丸龜町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
FAX (087) 822-7160

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年数とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご利用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご利用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1



本製品主要部のはんだ付けには無鉛はんだを使用しています。